お手軽カー読本

わくわくパーツハンドブック

第3.1版（2019年）NAPAC／JASMA 監修

Contents

「オートパーツの日」(8月2日)にカスタマイズを楽しもう
正しい、楽しいチューニングのススメ
部分別カスタムポイント
#01 サスペンション
#02 ブレーキ
#03 車体剛性パーツ
#04 駆動系
#05 アルミホイール・タイヤ
#06 エアロ
#07 ドレスアップ インテリア
#08 スポーティ インテリア
#09 エンジン・クーリング
#10 ライティング
#11 エキゾースト

～保安基準への適合が確かなASEA認定・登録パーツ～

8月2日は AP82 オートパーツの日

オートパーツの日

8月2日

※（一社）日本記念日協会に登録済

「8月2日はオートパーツの日」は
カスタマイズライフをより楽しくするためのオートパーツ点検交換の日です。
オートパーツを定期交換する際に、走りの性能アップや乗り心地の向上、個性ある
スタイリングをかなえるNAPAC・JASMA会員の「カスタマイズパーツ」を選んでみよう！
業界基準をクリアした安心安全なNAPAC・JASMA会員パーツに交換することで、
ノーマルとは違った楽しさが得られるはずです。

カーカスタマイズライフをより楽しくするための オートパーツ点検交換の日です

愛車の点検整備やアップグレードには、確かなパーツ選び、確実な取り付けと点検整備技術を持ったお店選びが肝心です。その点、「オートパーツの日」を提唱する「（一社）日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会（NAPAC）」並びに日本自動車スポーツマフラー協会（JASMA）のパーツと、「（一社）自動車用品小売業協会（APARA）」の加盟店等なら安心してあなたの愛車を任せられます！

安心車検のNAPAC

プレミアムパーツ

ASEA(オートスポーツ・アンド・スペシャル・イクイップメント・アソシエーション：通称アセア）はNAPAC(一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 ）のスポーティングパーツ等の事業部として、70社を超える日本を代表するスポーティングパーツに関連する有名企業が会員として加入しています。ASEAはモータースポーツのバックアップを始め「ASEA基準」の取り組みなど、健全なカスタマイズ＆チューニング発展のため「安全・安心・信頼」のスポーティングパーツの振興、普及に努めています。

外装パーツ

内装パーツ

エンジン周辺パーツ

ホイール周辺パーツ

スペーサー
（ワイドトレッドタイプ）

駆動系パーツ

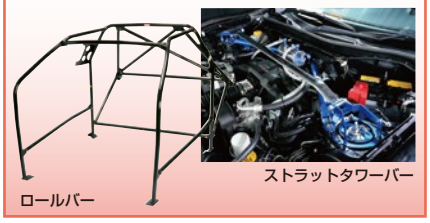
AUTOSPORTS & SPECIAL EQUIPMENT ASSOCIATION
品質基準
Authorized by NAPAC

ブレーキパーツ

ライティングパーツ

サスペンションパーツ

車体剛性パーツ



ASEA基準登録アイテム

基準登録証 1234567890
本製品はASEA加盟メーカーがASEAの定める厳格な基準に適合するものとしてASEAに登録した製品であることを証します。
NAPAC TEL 03-5487-8188
一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 ASEA事業部

そのアイテムが法令をクリアしていることを前提に、自社で定める基準や規格、品質を満たしているものとしてＡＳＥＡに申請されます。仕様等の確認を経て基準登録アイテムとして登録され、その製品には上の基準登録証（シール）が製品本体や外箱、取扱説明書などに貼付または印刷されます。基準の条件としては「法令遵守とユーザーの安全確保」「ボルトオンで取り付け・交換が可能なもの」「保安基準に適合していること、車検の際に必要な書類が貼付されていること」など。

ASEA基準認定アイテム

本製品はASEAの定めた厳格な自主基準に合格した製品であることを証します。 1234567890
基準認定証
品質認定
NAPAC TEL 03-5487-8188
一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 ASEA事業部

登録基準と同様に、そのアイテムが法令をクリアしていることを前提としています。さらに、そのアイテムが持つ性能や耐久性、安全性を担保するために、ＡＳＥＡが定めるさらに厳しい試験、評価等が義務づけられ、それをクリアした製品が ASEA 基準認定品となり、上の基準登録認定証（シール）が製品本体や外箱、取扱説明書などに貼付または印刷されます。これにより、性能、品質、安全性が客観的に証明され、安心してスポーティングパーツを選ぶための指標となります。

8月2日は AP82 オートパーツの日

カーライフをより楽しくする
愛車のパーツ点検・交換“記念日”

https://www.napac.jp

NAPAC JAWA ASEA
NIPPON AUTO PARTS AFTERMARKET COMMITTEE

一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
ASEA事業部 〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-14 最勝ビル11F-5
TEL.03-5487-8188 FAX.03-5437-6882

COOL JAPAN
NAPACはクールジャパンに取り組んでいます

8月2日は AP82 オートパーツの日

不正改造は犯罪です!!

知らなかったでは済まされない！不正改造に注意しよう

ご存知の通り、一般公道を走行するには法令（保安基準）に適合した状態でなければいけません。不正改造車両については、その改造を実施した者には 6 ヶ月以下の懲役又は 30 万円以下の罰金が課せられ、使用者には整備命令が発令されます。また、不正改造は法的な問題だけでなく、重大な事故につながるとても危険なものでもあることを理解し、適切な整備がされた状態の愛車でカーライフを楽しみましょう

シートベルトリマインダーの不正解除

運転席にシートベルトが装着されていない場合にその旨を運転者に警告する装着（シートベルトリマインダー）による警告表示等を、機具を用いて不正に解除すること

消音器（マフラー）

保安基準 内燃機関を原動機とする自動車には、騒音基準値等に適合する消音器を備えなければならない

前面ガラス、運転席及び助手席の窓ガラス

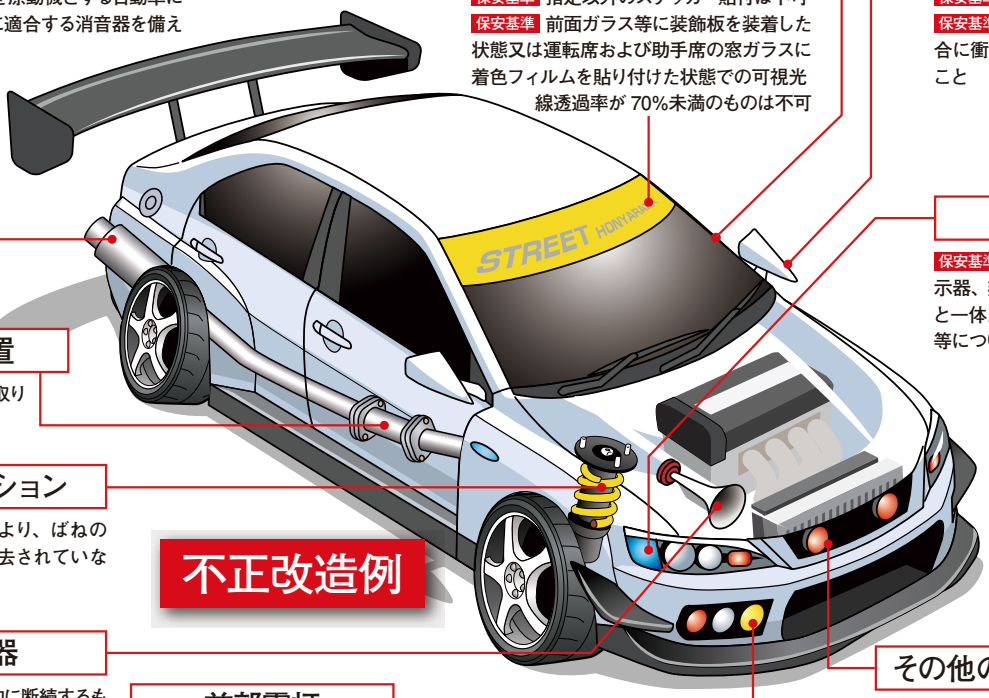
保安基準 指定以外のステッカー貼付は不可

保安基準 前面ガラス等に装飾板を装着した状態又は運転席および助手席の窓ガラスに着色フィルムを貼り付けた状態での可視光線透過率が 70%未満のものは不可

バックミラー

保安基準 鋭利な突起がないこと

保安基準 歩行者等に接触した場合に衝撃を緩衝できる構造であること



車幅灯

保安基準 白色であること（方向指示器、非常点滅表示灯又は側方灯と一体又は兼用のもの及び二輪車等については、橙色でもよい

触媒装置

保安基準 触媒等が取り外されていないこと

サスペンション

保安基準 切断等により、ばねの一部又は全部が除去されていないこと

不正改造例

警音器

保安基準 音が自動的に断続するものは不可

保安基準 音の大きさ又は音色が自動的に変化する又は運転席で容易に変化させることができるものは不可

前部霧灯

保安基準 白色又は淡黄色であること

保安基準 同時に3個以上点灯しないこと

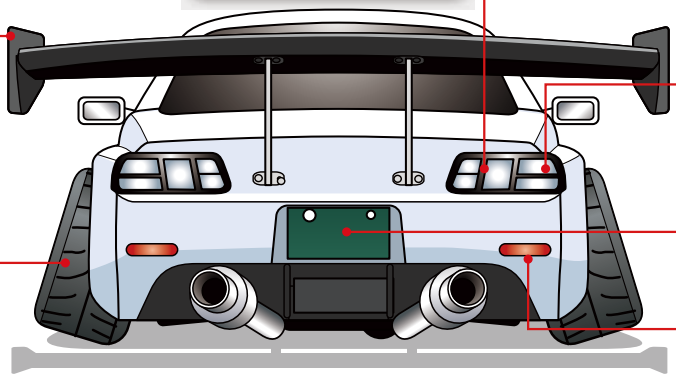
その他の灯火（デイライト）

保安基準 赤色でないこと

保安基準 光度 300cd 以下であること

保安基準 点滅しないこと

不正改造例



基準外のウイング

保安基準 側方への翼形状を有していないこと

保安基準 確実に取り付けられていること

保安基準 鋭い突起がないこと

保安基準 その付近の最外側、最後端とならないこと

タイヤ

保安基準 回転部分が突出する等他の交通の安全を妨げる恐れのあるものでないこと

尾灯／制動灯

保安基準 赤色であること

方向指示器

保安基準 橙色であること

保安基準 点滅回数が毎分 60 回以上、120 回以下であること

番号灯／後退灯

保安基準 白色であること

後部反射器

保安基準 赤色であること

こんなところにも気をつけよう

パーツの組み合わせや取り付け方によって保安基準外になることも！

カスタムした部分以外が間接的に保安基準外になってしまうこともあるので注意が必要。代表的な例では、トヨタ 86 がサスペンションの取り付けによるローダウンでウインカーの位置が下がり、保安基準（地上から 350mm 以上）に抵触してしまう事例もある

排気系についての保安基準で特に注意したいのが「事前認証」制度。平成22年4月1日以降に生産されたクルマは、車検証にマフラー加速騒音規制適用車とあれば、交換用マフラーの事前認証制度が適用。インナーサイレンサー式も不可となる。平成28年騒音規制車は、後付けのスポーツマフラーは事前認証制度が適用される。車両によって規制値が異なる場合がある。

保安基準は公道を走るクルマに課せられた国の定めるレギュレーション

保安基準は車両の安全性の確保、公害の防止、環境の保全などが定められた道路運送車両法の一項目で、73 条から成り立つ。その中に多数の要件が並ぶが、把握や理解は難しい面もある。そこでパーツメーカーが、保安基準適合品といった合法が明確な製品を開発し、販売している。それらを選べば気軽にカスタマイズが楽しめるのだ

決められた指定部品は原則として交換が自由

平成 7 年 11 月 22 日以降、軽微とみなされるパーツの変更は、構造変更（改造申請）等が不要となった。その対象となるのがまず指定部品だ。固定的、簡易的な取り付け方法をとれば、右の一覧にあるパーツは自由に交換できる。範囲内であれば車体の寸法も変えていい。とはいえ最低地上高や外装の形状、排気騒音、灯火色等の要件は保安基準の規定が適用され、遵守しなければならない。たとえばサスペンション交換は、9 ㎝を割る最低地上高は原則として認めらない

指定部品以外の自動車部品は装着後の寸法などが一定範囲内にあればOK

指定部品以外のパーツは自動車部品として、装着後の車体の寸法と車重が、記載の一定範囲内にあれば軽微な変更になる。取り付けは、恒久的な方法も可能だ。エンジンなどのチューニングもこの中に含められる。しかし自動車部品も、満たすべき要件は保安基準が基本となる。たとえば全高は ±4 ㎝とあるが、最低地上高は原則 9 ㎝確保が絶対だ。また、車幅についてオーバーフェンダーは指定部品ではないので、軽微な変更は左右合計で 2 ㎝までとなる

保安基準への適合はオーナーの役目

自由なパーツ交換と引き換えに、ユーザーは愛車を常に保安基準へ適合させる義務がある。保安基準を逸脱することがないように、チューニングを進める際には ASEA が認めるパーツで保安基準適合の状態を維持しよう

定められている部品の取り付け方法

簡易的	容易に脱着が可能な取り付け
固定的	ボルト、ナット、接着などによる一般的な取り付け
恒久的	簡単に取り外しができない溶接、リベットなどによる取り付け

軽微な変更として扱われる指定部品の例(抜粋)

車体まわり	エアスポイラー　エアダム　フードスクープ エアロパーツ類　フェンダーカバー　ロールバー
エンジン	エキゾーストパイプ　マフラーカッター
室内	ナビゲーション　オーディオ
操縦装置	ステアリング　シフトノブ
緩衝装置	コイルスプリング　ショックアブソーバー　ストラット類
騒音防止装置	マフラー　排気管
そのほか	灯火類

自動車部品(指定部品以外)を装着した場合に変更が許される一定範囲

	軽自動車・小型自動車	普通自動車
全長	± 3㎝	± 3㎝
全幅	± 2㎝	± 2㎝
全高	± 4㎝	± 4㎝
車重	±50 kg	±100 kg

部品の取り付け方法と一定範囲の関係

○：軽微な変更の範囲　×：構造変更・記載変更の手続きが必要

		一定範囲内	一定範囲超
指定部品	固定的な取り付け	○	○
	恒久的な取り付け	○	×
自動車部品	固定的な取り付け	○	×
	恒久的な取り付け	○	×

最低地上高

自動車の全面の地上高は指定部品、自動車部品の装着にかかわらず空車時に 9 ㎝以上を確保する必要がある。ただし、ホイールベースとオーバーハングの寸法、クルマの構造の条件などにより異なる

正しい、楽しいチューニングのススメ

ASEAが認めるパーツは保安基準への適合が確かで性能にも優れる

NAPAC の ASEA 事業部では ASEA 基準を設け、会員メーカーのパーツについて登録制度と認定制度を行っている。そのパーツが法令で定められた要件を満たすことを前提に、メーカーの自社基準・規格・品質をクリアしていれば申請によって ASEA 登録アイテムとなり、製品にはその基準登録証が付く。さらに ASEA の厳格な試験と評価による認定基準を満たしたパーツには、基準認定証が付く。これを目安にパーツを選べば正しく、楽しいチューニングライフが送れるわけだ

どちらも保安基準に適合させた公道走行もできるサーキット仕様。ポイントさえ押さえれば、この WRX や 86 のようなスペックもつくれる

大柄なボディをスタイリッシュにキメる！

他のクルマと差を付けるキーポイントは「迫力」を出すこと

最近のミニバンが持つスタイリングは、ノーマルでも非常に押し出し感が強い。さらにホイールをインチアップしたりエアロパーツを装着すれば、その迫力がさらにアップ。しかも他にはない、自分だけの個性が手に入る

充実したカスタマイズパーツで迫力をさらにアップさせよう！

ミニバン

クルマ本来の魅力を生かして進化させる

ファミリー層はもちろん、若者にも大人気のミニバン。室内の広さや豪華な装備もさることながら、ボディ全体からあふれ出す重厚さや高級感、ゴージャスな雰囲気が幅広い世代にウケている。だからミニバンカスタマイズのカギは、迫力や力強さをプラスするアイテムを装着して、クルマの持ち味を最大限に引き出すこと。まずはボディサイズに負けない大径のホイールとさり気ないローダウンで、ドッシリとしたフォルムを作る。さらにオシャレなエアロパーツを組んでシルエットを補正し、光モノやメッキパーツなどの小物を足せば他と違いを出せる。そして室内も自分好みにカスタムすれば、快適にドライブできること間違いなし。

エアロパーツ

スタイル一新の第一歩

エアロパーツには様々な種類がある。イメージが大きく変わるバンパータイプに、純正バンパーのデザインを生かしたハーフタイプ、そして小振りなリップタイプ。最近ではリップよりもさらに薄い、フラップタイプも人気を集めている。

ローダウン

安定した走りもゲット

ローダウンするとドッシリ感がアップし、走行性能も安定感が増す。特にコーナリング時にふらつきが起こりやすい大柄なミニバンには、有効なカスタマイズだ。リーズナブルなダウンサスや、ミリ単位で車高を調整できる車高調が人気。

ホイール

狙うならインチアップ

ホイール交換の基本はインチアップ。純正サイズから１～２インチ大きいホイールを履かせることで、足元に存在感が備わる。お手頃価格な１ピース、インセットをミリ単位でオーダーできる２ピース、高価だが質感が高い３ピースがある。

最新トレンド 1

シートカバーで高級感を向上

定番の室内カスタマイズと言えば、シートカバーの装着。純正のモケットシートに被せるだけで、高級感あふれるレザー調シートに早変わり。最近のシートカバーはクオリティが高く、まるで張り替えたかのような雰囲気が味わえる。カラーバリエーションも豊富。

多くのシートカバーは厚みのあるウレタンが内蔵され、座り心地は文句なし。純正シートの汚れ防止にも効果的

最新トレンド 2

主流は純正交換タイプ

ステアリングの交換も定番のカスタマイズテク。今の主流はグリップ部だけを変える純正交換タイプで、エアバッグやスイッチ類の機能をそのまま生かせるのが特徴。グリップ部は手にしっくり馴染むレザーにウッドなどを組み合わせた、コンビタイプがトレンド。

グリップの上部にコブを付けたガングリップタイプ（写真）は、ステアリング操作がより一層快適に

最新トレンド 3

フォグランプをLED化

暗闇や悪天候時の運転をサポートするフォグランプは、バルブの交換がオススメ。最近はヘッドライトの光源にLEDを採用したクルマが多く、フォグランプのバルブもLEDに交換して光に統一感を持たせよう。きっとナイトシーンで注目を集めること、間違いなし！

透明感あふれる光がLEDのポイント。明るさもひと昔前と比べたら飛躍的に向上し、実用性も申し分なしだ

最新トレンド 4

メッキで上質さをプラス

ノーマルでもボディを中心にメッキ加飾がふんだんに採用され、プレミアム感の演出にひと役買っている。さらにメッキ仕上げのカスタマイズパーツを追加することで、ゴージャスなムードがアップ。ヘッドライトガーニッシュやピラーなどに取り入れるのが定番。

フロントグリルと質感が調和した、メッキのヘッドライトガーニッシュ。力強い顔つきを生み出す

最新トレンド 5

映像をしっかり記録

映像や音声を記録してくれるドライブレコーダーは、事故を起こした時など万が一のために絶対付けておきたいアイテム。今のドラレコは画質が大幅に向上し、機能も非常に充実。求めている機能や使うシーン、価格などを考慮して理想にピッタリの一品を選ぼう。

以前と比べると本体がコンパクトになり、見た目がスマートに。ルームミラー一体型も発売されている

最新トレンド 6

ルックスとサウンドを満喫

リアビューのイメージチェンジに欠かせないスポーツマフラー。洗練されたビジュアルや心地良いエキゾーストノートが楽しめるなど、高い満足度が得られる。商品によっては排気効率も大幅にアップするので、スポーツ走行を楽しみたい人にもオススメのアイテム。

平成22年４月１日以降に生産されたクルマは、事前認証制度をクリアしたマフラーなら車検も問題なし

小さいけれど、イジりの可能性は無限大

今、最もホットなカテゴリーだからこそ カスタマイズで個性を出そう

軽カーは販売台数が多く、街中で自分と同じ色やグレードのクルマを目にすることもしばしば。だから好みのホイールやエアロパーツでカスタマイズして、自分らしさをアピールしたい

クルマの方向性にマッチした パーツのセレクトが重要！

軽カー

個性的なクルマを自分好みにアレンジしよう

ミニバンに負けず劣らず、ドレスアップのベースとして人気が高い軽カー。何と言ってもパーツが非常に充実しているので、イジりがいたっぷり。また、販売台数が多い売れ筋のカテゴリーだけに、手を加えてオリジナリティを出したいところ。軽カーカスタマイズベース車の主流は、居住スペースを優先した背が高いハイトワゴン系。さらにニーズの多様化により、個性を重視したクルマが続々デビュー。特にハスラーのようなクロスオーバー SUV タイプ、S660 やアルトワークスといったスポーツモデルが話題を呼んでいる。前者は素材の良さを生かしてワイルドに、後者はスポーティ感を一層盛り上げる小物パーツで味付けするのが成功のカギ。

エアロパーツ

走りを感じる造形美

インパクトを出すなら、バンパータイプのエアロがオススメ。しかし最近は走りやすさや走りを主張できるという点でメリットがある、小振りなフラップタイプの人気が高まっている。フロントグリルの交換や、アイラインの装着も効果的。

ローダウン

ローフォルムを狙え！

さり気なく落としたいならダウンサス、乗り味や車高を自分好みにセッティングしたいなら車高調が最適。一部のクルマは車高を落とすとリアの車軸が右または左にズレてしまうため、調整式ラテラルロッドに交換して補正する必要がある。

ホイール

ラインアップが充実

メッシュやスポーク、ディッシュなど各メーカーから様々なデザインのホイールが販売されている。クルマの方向性に相応しいデザインのホイールも多く出回っているので、スタイルに合わせて選ぼう。カラーバリエーションが充実しているホイールは、ボディ色とのコーディネイトも楽しい。

最新トレンド 1

極上空間へと導くシートカバー

ほとんどの軽カーは、シートがモケット生地。決して悪くないが、高級感の演出で言えばレザー調のシートカバーに軍配が上がる。各メーカーのシートカバーはデザインや色合いに凝っており、見た目も鮮やか。居心地の良さを高めてくれるのも魅力のアイテム。

繊細な縫製技術で独創的なデザインを作り上げ、純正シートの面影を消してくれる。フィット感も高い

最新トレンド 2

ルームランプをLED化

ルームランプの光源を電球から LED に交換すれば、明るくて強い光が車内全体を照射。夜間での探し物がスムーズに行えるなど、実用性も大幅に向上する。汎用品も販売されているが、車内を LED の光でムラなく照らしたいなら車種専用タイプもオススメしたい。

高輝度タイプの LED を採用したルームランプは、純正の電球とは比べものにならないほどの明るさがウリ

最新トレンド 3

スポーツ軽カーも熱い!

走りに特化した軽カーのラインアップが多い今、スポーティなカスタマイズを楽しむのもアリ。外装は小振りなフラップタイプのエアロパーツや見た目が軽やかなスポークホイールを装着することでスポーティ感が増し、ノーマルでもスタイリッシュなフォルムに一層磨きがかかる。また、チューニングで性能アップを狙えるのも大きな魅力。車高調で足まわりを固めればしなやかな乗り味を堪能でき、マフラーやエアクリーナーなど吸・排気系パーツの交換でレスポンスの向上も実現。安全運転を心がけながら、スポーツドライビングを満喫しよう。

両端を立ち上げた薄いフラップタイプのエアロパーツは、レーシングカーを連想させるデザインが特徴。ホイールは1ピースのスポークタイプが似合う。軽量なモデルはバネ下重量が軽減され、ハンドリング性能が向上

最新トレンド 4

ヘッドライトをHID化

ヘッドライトのバルブをハロゲンから LED に交換する人が増えているが、今でも支持を得ているのが HID。一般的に少し青みがかった光はファッション性が高く、明るさにおいても文句なし。純正で HID を採用しているクルマなら、バルブ交換だけで色合いを変えられる。

ライトだけでなく、フォグランプ専用の HID も出回っている。車両のバルブ形状を確かめてみよう

最新トレンド 5

きらびやかなメッキの輝き

あまり純正では用いられない高級な素材を取り入れることで、クルマの質感が格段にアップする。その代表格と言えばメッキパーツ。フロントグリルやドアハンドルなど、各部にバランス良く取り入れることがポイント。クドくなってしまうので、使い過ぎは NG。

純正交換型、または貼り付けタイプのパーツが発売されている。スポーツ感重視ならカーボンもオススメ

注目のカテゴリーをいち早くメイクアップ！

力強い雰囲気をキープしながらオシャレさを身にまとう

カテゴリー自体の人気が上がるに比例して、アフターパーツも充実してきたSUV。カスタマイズを始めようと思っている人にとっては、今がチャンスと言えるだろう。ツボをしっかり押さえてハイセンスな１台に仕上げよう

スタイリングを崩さないように
センス良くイジるのがポイント

SUV

ドレスアップとチューニング、どちらもイケる

90年代のRVブームがいつしか沈静化し、多くのオーナーはミニバンや軽カーに走ってしまった。しかしここ数年でSUVのシェアがぐんぐん急成長し、各自動車メーカーから魅力的なクルマが続々デビュー。とは言っても今のSUVはあまり泥臭さを感じず、街中をオシャレに走れる洗練されたスタイリングが最大のウリ。だからゴテゴテしたパーツではなく、小振りなエアロパーツやシンプルなホイールでさり気なく「プラスα」するカスタマイズがスタンダード。そして足まわりはSUV定番のリフトアップだけでなく、ローダウンまで似合うという点も見逃せない。オンロードでのスポーツ走行を楽しみたい人にも最適なベース車と言える。

エアロパーツ

「ちょい足し」もオススメ

最近のSUVは純正バンパーが凝っており、まるでエアロパーツを装着したかのようにスタイリッシュなデザイン。だから純正バンパーの造形を生かせる、ハーフタイプやフラップタイプがトレンド。しかし他と大きく差を付けたいなら、ぜひバンパータイプにも挑戦して欲しい。

車高調

キビキビとした走りを実現

昔と比べれば価格的にも手が届きやすくなったこともあり、ローダウンするなら車高調をオススメしたい。見た目のイメージチェンジはもちろんのこと、少々ハイトなSUVに起こりがちなコーナリング時のふらつき防止に最適。車高調によっては減衰力調整機構も設けている。

ホイール

インチアップがベター

SUVと言えば、アメリカンなワイルド系ホイールが良く似合う。しかしローダウンするのであれば、ミニバンに人気のドレスアップ系ホイールも選択肢に入れたい。他のカテゴリーと比べたらフェンダーのインナークリアランスに余裕があるため、大径のホイールもスマートに履きこなせる。

最新トレンド 1

昼でも目立てるデイライト

もともと欧州車に採用されるLEDデイライト。本来は実用性を追求したアイテムだが、日本ではカスタマイズパーツのひとつとして大ブレイク。汎用品を付けるのも良し、もし設定があれば純正バンパーにジャストフィットな車種専用タイプをセレクトしてみては？

1つひとつ小さくても強い光を放ち、フロントマスクのアクセントに最適なデイライト。デザインも豊富

最新トレンド 2

補強パーツで剛性アップ

もしハードな走りを楽しむなら、単に車高を落としただけではボディの剛性が追い付かず、シャキッと感が出ない。そこで補強パーツを装着して、剛性を高めたい。足まわりの上部を連結して補強するストラットタワーバー、腹下に付けるブレースタイプがイチ押し。

ボディのねじれやゆがみを抑えるだけでなく、足まわり本来の性能を最大限に発揮できるのもメリット

最新トレンド 3

スポーツマフラーも注目

走りに振ったカスタマイズを行っているなら、マフラーもそれに見合ったものに交換したい。スポーツマフラーは性能も追求し、抜けを良くしてレスポンスアップを実現。そして磨かれた美しいテールエンドやサウンドなど、視覚・聴覚でも高い満足度が得られる。

気になる車検も、事前認証制度をパスしたマフラーなら心配する必要はなし。安心して取り付けできる

最新トレンド 4

白色LEDヘッドライト

純正でLEDヘッドライトを採用したクルマが増えつつあるが、それでも一部のグレードは未だハロゲンのままだったりする。そこでアフターパーツの出番。純正のバルブからLEDのヘッドライトに交換すれば、憧れの白い光が手に入る。上級な雰囲気が欲しい人に！

立ち上がりの速さもLEDならでは。ライトのスイッチをONにすると、タイムロスがなく瞬時に点灯する

最新トレンド 5

SUV王道リフトアップ

これぞSUVの王道スタイルと言える、リフトアップもチャレンジしたい。「車高を上げる」と聞くと手間がかかるイメージだが、今では純正と交換するだけでリフトアップできるスプリングも注目を集めている。（※リフトアップする場合は保安基準に適合するパーツをご使用ください）

車高アップによるふらつきを防ぐため、各社バネレートに工夫を凝らしている。

最新トレンド6

シートカバー

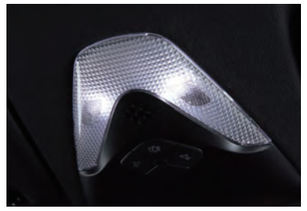
室内ドレスアップの定番パーツであるシートカバーは、SUV用のラインアップも各社豊富に取り揃えている。純正のモケットでは物足りないと感じている人は、ぜひ導入したい。

手にしっかりと馴染むレザーのゴージャスな質感は、モケットではなかなか味わえない

最新トレンド 7

室内LED化

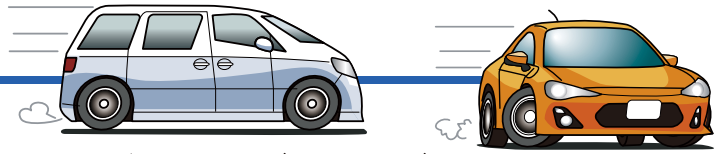
ルームランプやカーテシランプ、ラゲッジランプなど車内には多くの照明が装備されている。これらのバルブを純正の電球からLEDに交換すると、夜間での印象が大きく変わる。



実用性を優先するなら、ホワイトのLEDがイチ押し。これで夜間のナビ操作もスムーズ

わくわくパーツ#01

サスペンション



ローフォルムでカッコよくキビキビ走れる!!

全長調整式車高調

多機能モデル
細かな調整ができる

車高と走行性能をダンパーの長さとスプリングの取り付け高さの両方でセットでき、車高、操縦性、乗り心地などが細かく変更できる

ダンパーの伸縮する長さを保って車高が下げられるが、下げ過ぎはサスの動きが渋る。推奨範囲で使うのが基本

下部にブラケットがつく分、実際のダンパー長は短く、ネジ式と同車高では伸縮量（ストローク）がやや少ない

各部の役割

① アッパーマウント

ボディに取り付く部分。サスの動きをよくするため、ブッシュはスポーツ走行向きがピロボール、ストリート向きには強化ゴムが使われることが多い

② 減衰力調整

調整機構が付いているとダンパーの作動を強めたり、弱めたりと調節でき、ハンドリングやコーナリング時のロールの速さ、乗り心地が好みに合わせられる

③ ダンパー

スプリングが伸縮する速さを制御し、クルマの姿勢や挙動を整える。減衰力と呼ぶ数値が大きいと縮みにくく、伸びにくい。小さいと作動はその逆になる

④ スプリング

クルマの車重を受け止め、タイヤが路面に押し付くようにし、接地させる。従ってバネの硬さで乗り心地、グリップ感、ロール量などサスの基本的な性能が決まる

⑤ 車高調整

ネジ式はスプリングを支えるスプリングロアシートの位置を、全長調整式はロアブラケットの位置を回転させて調整すると、希望の車高に合わせられる

ネジ式車高調

ベーシックモデル
シンプルで扱いやすい

車高と走行性能をスプリングの取り付ける高さでセットする。メーカー設定の基本車高で使うなら操縦性や乗り心地に有利な仕組み

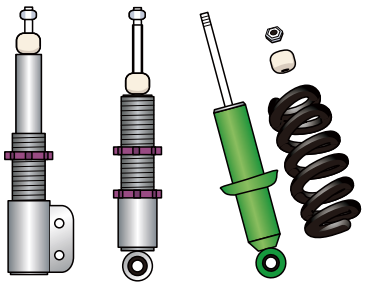
車高の設定次第で、サスの伸びる量と縮む量の比率が大きく変わる。推奨車高が希望の車高に近いキットを選ぶ

乗り心地の確保に純正アッパーマウントを使うキットは、リフレッシュを兼ねて新品マウントで組むのが最善

キットによっては、全長調整式を含めサスが伸びたときのタイヤの接地性を高めるヘルパースプリングがつく

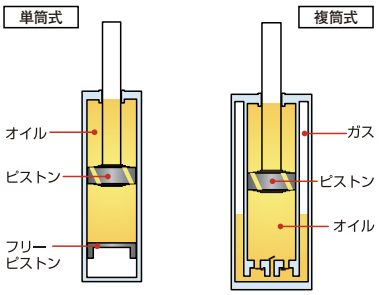
サスペンションの豆知識　性能の基本をつくるダンパーを知っておこう

●ストラットタイプとマルチリンクタイプ



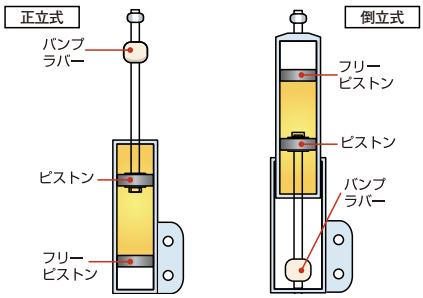
ストラットはアームの一部として車体を支えるため全体に太め。ウィッシュボーンやトーションビーム用のマルチリンクタイプは、そこまでは求められず細め

●単筒式と複筒式



一般に単筒式は複筒式と同径で同じ長さなら減衰力を生むピストンが大きく、作動の反応が速い。複筒式はフリーピストンがなく、ストロークを得やすい

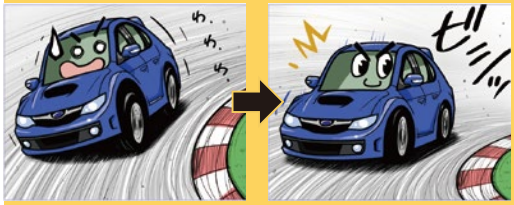
●正立式と倒立式



正立式を逆さまにした仕組みはストラットタイプの単筒式のみ成り立つ構造。シリンダーが二重になり、高い剛性が得られる。半面、擦動部分が多くなる

POINT

こういう効果がある



- ○乗り心地が引き締まり、ハンドリングの安心感が高まる
- ○タイヤの接地性が強まり、グリップが増して走りやすくなる
- ○コーナリング時のロールがゆるやかで曲がりやすくなる
- ○愛車を見栄えのいいローフォルムにできる

選ぶときはココをチェック

地上高　取付　機能

- ●車高調キットは街乗りが主ならストリート向け、スポーツ走行をするなら相応に設定されたモデルを選ぶ。乗り心地や車高の設定が変わってくる
- ●正しく機能させるため、アライメント調整も必ず行う
- ●タイヤやブレーキも強化すると、車高調キットの性能が一段と楽しめる

走りをキメるポイント

車高調整サスペンションには、メーカーが公道での使用にあたって推奨する車高設定の範囲がある。とはいえ、その数値を基準にキットを取り付けて終わりでは惜しい。それでは性能のすべてを楽しめない。そこで押さえるべきセッティングの基本を覚えよう

車高の設定は空車時に最低地上高90㎜確保が絶対

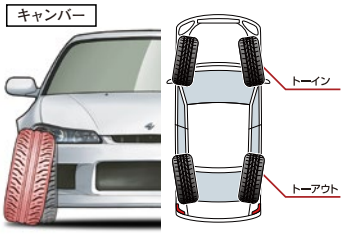
推奨車高に合わせても、装着タイヤやマフラーによっては地上高が不足する。また前面のウインカーが低い位置につく車両は、路面から下端までの高さが35㎝以上必要。車高を調整して適合させる

マフラーはメインパイプやテール付近が低くなりやすい。タイヤとホイールはサイズによっては車高の変化からハミ出しや、地上高の低下に注意したい

交換時はトーやキャンバーがズレるためアライメント調整を必ず実施

車高を下げると、サスペンションの構成パーツとタイヤとの位置関係にズレが生じる。そのままの状態では正しく走行できず、タイヤからは唸るような過大なノイズが響き、偏摩耗も進む。アライメント調整は必ず行おう

ハンドリングに影響を与えるアライメントは、ストラットや一部マルチリンク系サスはキャンバーが調整できる。一般的に前者なら調整式アッパーマウントやブラケットの調整機構で、後者なら純正アームの長さで修正。トーはタイロッドという部分やアームの長さで合わせる



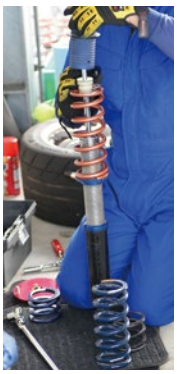
電子式調整コントローラーの装着で乗り心地やハンドリングを車内から調整

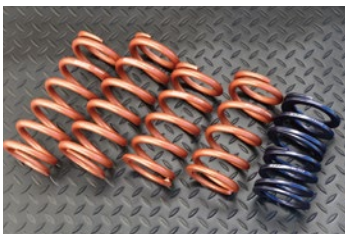
減衰力はダンパーに設けられた調整用ダイアルを回すと調節ができるが、メーカーによってはその操作が室内から行える電子制御コントローラーを用意。走行シーンや乗員数に見合う調節がすぐに行え、変化も比較しやすい

ダンパーの構造もかかわるが、車種によってはダイアルが回しにくい位置にある。電子式コントローラーを併用すれば、そんな場合でも調節が楽。便利なので同時装着を考えたい

オーバーホールや仕様変更を受ければ長く使い続けられる

ダンパーは、走行距離や使い方に比例して内部のパーツが摩耗する。多くはオーバーホールが行え、作業を受ければ性能を取り戻せる。好みの特性に仕上げてもらうことも可能だ





スプリングは例えばバネレートが5kg/㎜なら1㎜縮めるのに5kgの重さが必要。ダンパーの減衰力に余裕があればハイレート化によりロールをさらに抑えたり、グリップを高めたりもできる

手軽にできるサスペンションチューン

ローダウンスプリング

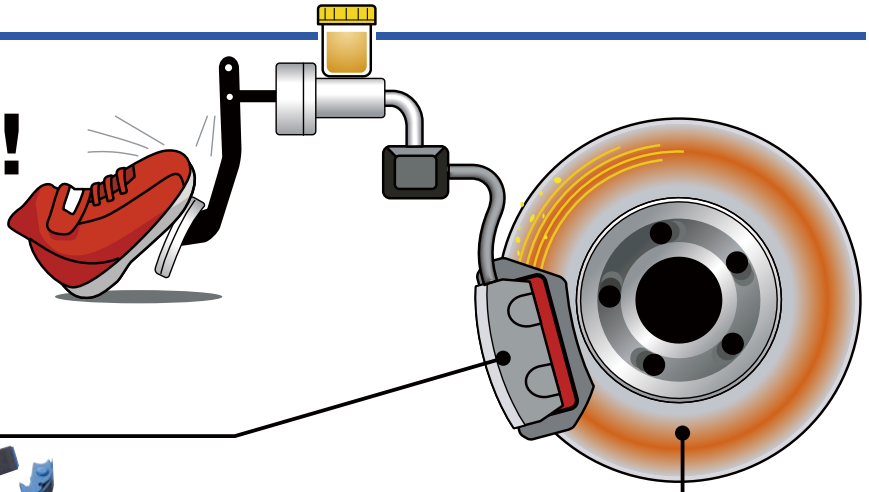
純正ダンパーのままローフォルム化でき、走りに安定感が加わる。車高調整が不要で、パーツ代も安価なことが利点。ただし、走行性能は純正ダンパーの仕様や状態に左右される

純正形状ダンパー

車高を変えずに、コーナリングなどで手応えのあるサスに仕上げられる。車高が多少下がる、スポーツ志向のスプリングをセットにするキットもある。リフレッシュにも最適

ブレーキ

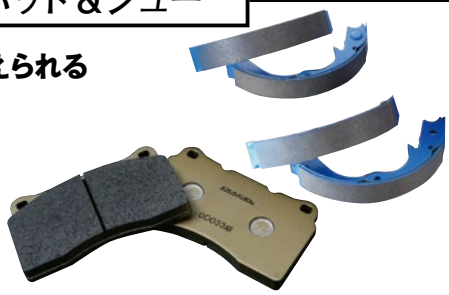
強力に減速でき！スマートに止まれる!!



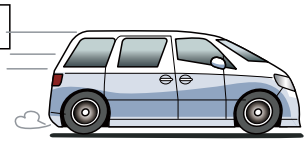
ブレーキパッド＆シュー

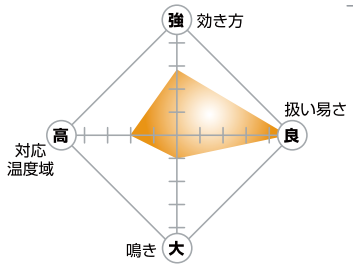
効きを手軽に変えられる

もう少し強い効きがほしい、姿勢がよく止まってほしい、ワインディングやスポーツ走行に応える制動力がほしいなど目的に合うパッドを選んで性能をアップさせよう



ストリート

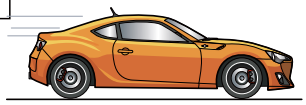


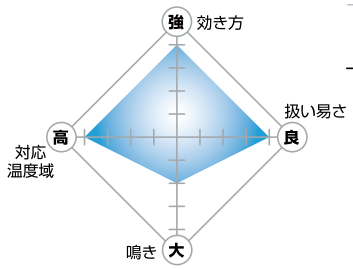


走り始めの低温から効く

ブレーキは回転エネルギーを摩擦で熱に換え機能させるため、低温では効きが鈍る。このタイプは走り始めまもなくから使え、制動も純正に比べやや強い。日常走行向き

スポーツ

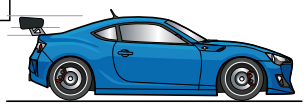


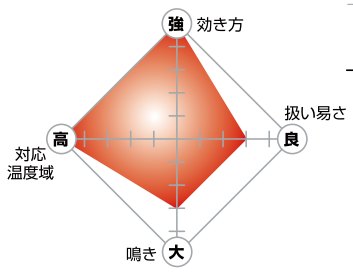


強い制動で広く使える

制動力が強く、温度上昇時に効きが弱まるフェードにも強い。大抵は、街乗りからサーキットでのスポーツ走行まで対応する。但しホイールが汚れることも多い

サーキット





高温域で性能を発揮

モータースポーツ向き。ローターが高温域になって強力な効きが発揮され、酷使できる。引き換えにブレーキが暖まらないと止まりにくく、ローターばかりが減ってしまう

パッドの材質特徴

- **ノンアスベスト系**：ペダル操作時の感触がやさしく、ローターも攻撃しにくい。主にストリート用に使われる
- **セミメタル・カーボン系**：ノンアスにスチールやカーボン材を混ぜ、効きや温度特性を高める。スポーツタイプに多い
- **メタル系**：金属粉が焼結されており、ローターが摩耗しやすいが、サーキット走行に適している

ブレーキローター

1ピース純正形状タイプ

純正のメンテにも最適

材質は純正同様に耐熱鋼だが性能に有利な素材が使われ、制動をアシストする表面処理が施されたものも多い。純正の補修を兼ねたアップグレードに最適

安定したブレーキの効きをもたらすスリット入りローター

ブレーキダストの除去、温度上昇時にパッドとローター間に発生するガス抜き、制動力を増幅するなどスリットの刻み方はメーカーのノウハウ。ローターの摩耗の目安にも使える

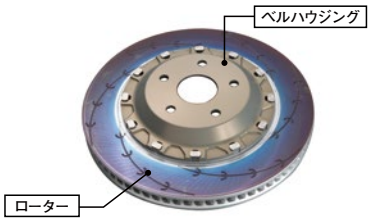
熱を放出して温度を安定させるベーン(ベンチレーター)構造

効きを保つためにローターの内部へ走行風を流して冷却し、ローターの温度を安定させる構造だ。ベーンの大きさや数、内部に設けるフィンの形状などメーカーごとに工夫がある

2ピースタイプ

スポーツ走行に有効

ローターと、ローターをハブに留めるベルハウジングというパーツが、それぞれの機能に適した異なる材質でつくられている。ローター径は純正同等でも、スポーツ性が高い



制動力と軽量化が追求された別体構造

2ピース式はベルハウジングがアルミ製。軽くて、サスの動きにかかわるバネ下重量も低減できる。ローターは制動力を高めながら、生じる熱がハブ側へ伝わりにくくするタイプもある

ブレーキは最後まで残さず使えるものではない!?

パッドもローターも、厚みは摩耗によって徐々に薄くなり、熱に対しての許容量も少なくなる。摩耗が進むほど、効きがしっくりこなくなる。性能維持にパッドは残量が半分で、ローターは1㎜ほど減ったら新品交換が理想だ

POINT

こういう効果がある

○ブレーキペダルを踏む量に応じて、強いブレーキがかかるようになる
○ワインディングなどでブレーキを連続して使っても、効きが安定しやすい
○サーキットのスポーツ走行では高い車速からの減速がしやすくなる
○ビッグキャリパーは強力かつコントロールしやすい制動性能が得られる

選ぶときはココをチェック

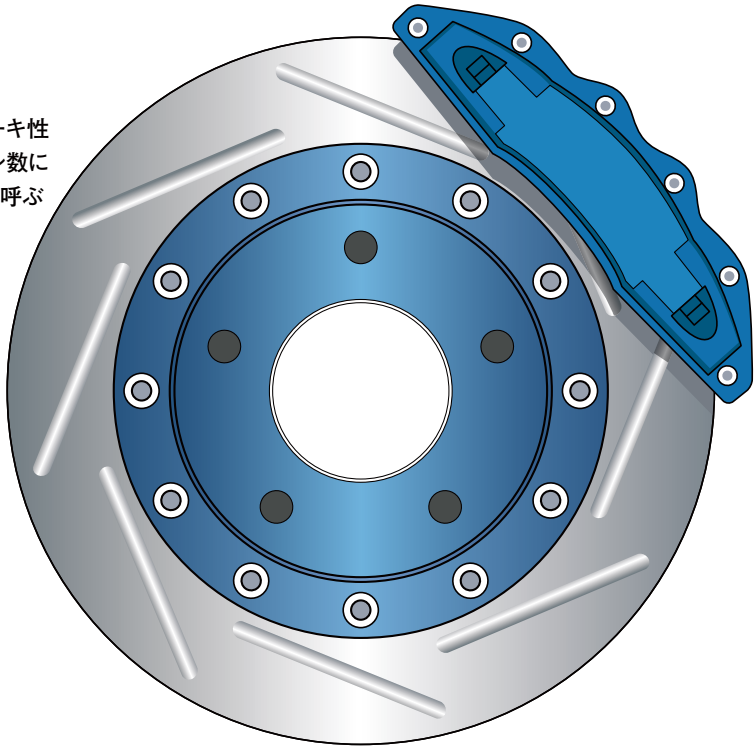
取付　効き　機能

●パッドは目的に合うタイプを選ぶ。誤ると使いたいシーンで、かえって制動が不足するなど使いにくくなる。ABSとの相性も確認
●パッドの性能を活かすために、フルードも必ず新品にする。ローターが摩耗していれば、やはり新しくする
●ビッグキャリパーはアルミホイールのサイズや形状によっては組み合わせがきかない。マッチングを確認しよう

ビッグキャリパーシステム

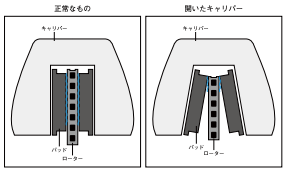
制動力も迫力もこのうえなし！

キャリパーの大型化で、パッドの効きだけに頼らず、強力なブレーキ性能が得られる。対向マルチピストンキャリパーは、使われるピストン数によって片側に2つ付くものを4Pot(ポット)、3つを6Pot、4つを8Potと呼ぶ



対向マルチピストン

左右に異径ピストンがバランスよく配置される。これは6Potの例。パッド全面に均等の力がかかり、回転するローターを左右からつかむように止めるので制動力が高い



純正のアルミキャリパーは熱によって本体が軟らかくなり、右の様に変形し、ブレーキの効きが弱くなる事がある

高剛性・大容量ボディ

ボディは制動時にパッドがローターの回転に跳ね返されず、また熱の影響で変形しにくい頑丈かつ容量のある構造。サイズが大きくても素材がアルミなので重量は軽い

専用大型ブレーキパッド

大型キャリパーに見合った面積がある。ローターとの接触面が増え、より強いブレーキがかかる。ゆえに踏力の加減で効きをコントロールできる特性で使いやすい

2ピース

アルミ素材の一体型がモノブロック。分割構造が2ピース。素材は鍛造と鋳造がある。鍛造モノブロックは高価だが、剛性や耐熱性にとくに優れ、ハードな走行に向く

大径ブレーキローター

純正ローター対応キットもあるが、多くは純正より一回り以上大きいローターがセットになる。ローター大径化によって軽い踏力で制動力を発揮できるようになるため、ストッピングパワーの増大につなげられる

ミニバンのインチアップ ドレスアップにもベスト

その性能ゆえにミニバンをはじめ車重のあるクルマでも、余裕のあるブレーキ性能を得られる。またインチアップではホイールとともに足元を飾れ、見た目も美しい

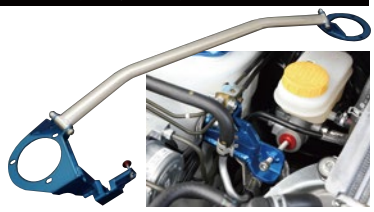
ブレーキチューンの性能アップはここも押さえよう

ブレーキライン

純正品より加圧時の膨張が少なくなり、ブレーキペダルがカチッとした踏み応えになる

車検ではホースの固定方法が確認される。こうした純正同様の方法でなければ車検の検査規程を満たしにくい

マスターシリンダーストッパー



マスターシリンダーを車体にしっかり留めてやると、ペダルを踏む量に対しての効き方がわかりやすくなる

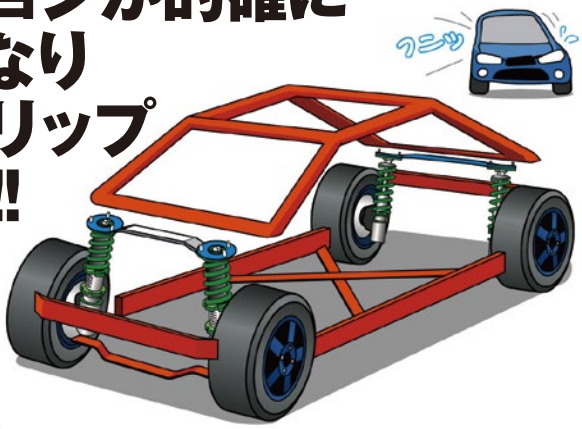
ブレーキフルード

高性能品を組み合わせるとブレーキ多用時のフルードの沸騰による性能低下が抑えられ、制動が安定。流動性に優れていると操作感も向上する

車体剛性パーツ

サスペンションが的確に動くようになりタイヤのグリップが向上する!!

車体剛性パーツは乗り心地を大きく変えずにサスペンション性能が高められるチューニングでもある



POINT

こういう効果がある

○サスペンションの動きにかかわる取付部を補強すると、ボディがシャキっとする
○車体の骨格となるフレームとその周辺を補強すると、ハンドル操作時のクルマの反応を高められる
○ストラットバーやピラーバーは手軽で、体感もしやすい

選ぶときはココをチェック

地上高 **効き** **機能**

●ボルトで取り付けられるものばかりだが、各パーツは同時装着ができない場合もある
●室内用は乗降や荷物の積載がしにくくなることがあるので、目的に合わせて選ぼう
●フロア下面に組むものは、車高によっては最低地上高に気を付けよう

① ストラットタワーバー

サスの取り付け上部を強固に結合する

サスペンション上部の左右をガッチリつなぐと、スプリングとダンパーが的確に動くようになりハンドリングが向上。リア用もある

形状や材質がいろいろありエンジンルームを飾ることもできる

② ロワアームバー

ロワアーム取付部の左右をしっかり留める

ロワアームはサスとともに可動する。取付部をバーで補強すると、加速コーナリング時のアライメント変化を抑えられる。リア用もある

③ ブレスバー

ボディやメンバーをバー材で複数点固定

車体下面の各部をつなぎ、固定することで、ボディや足周りの歪み等を抑え、ボディ剛性の向上と正確なハンドリングを獲得できる

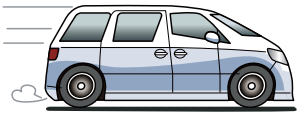
④ スポーツ走行にロールバー

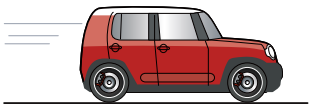
室内にバーを張って骨格を強くする

装着に加工がいるが、室内にバーを張り巡らせるので安全性と車体剛性を同時に高められる。乗車定員が変わる形状は記載変更が必要

サーキットによっては、オープンカーはロールバー装着が必須なケースもある。なるべく装着したい

ミニバンや軽カー、ホットハッチはココもキメる!!

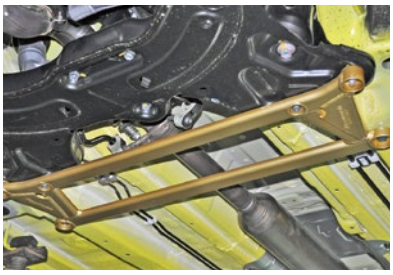




室内フロアバー

この種のクルマは車室のスペースが広く、ホイールベースも長い。Bピラーの左右をフロアーバーで連結するとクルマの前後の動きに一体感が現れ、フットワークが軽やかになる

フロアアンダーバー



とくにFF車はエンジンとミッション、サスペンションやステアリングのすべてがつながるサスメンバーの基部をアンダーバーで固めるとハンドルの操作感とタイヤのグリップ感が高まる

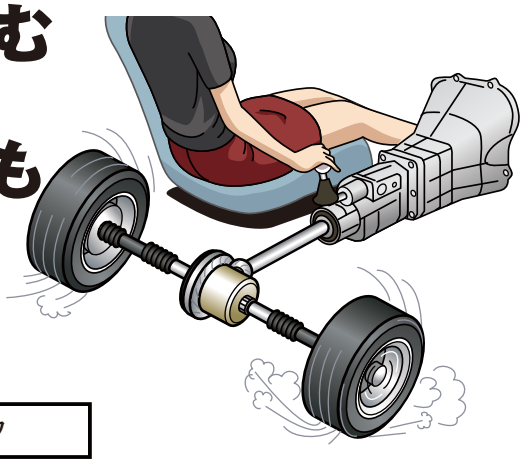
リアピラーバー

ハッチバックは開口部が広いため、Cピラーの左右を真っ直ぐつなぐピラーバーを組むと、コーナリングやレーンチェンジ時にフロントの動きに対してリアまわりの追従が高まる

ローダウン車は最低地上高に注意

フロアの下まわりに補強バーを取り付けると、車高によってはその部位が最低地上高になる可能性も起こり得る。保安基準の90㎜を満たせなければ、車高の見直しと調整が必要だ

クルマの前に進む力が強くなり！コーナーも悪路も走行性能がアップする!!



POINT

こういう効果がある

○LSDを装着するとエンジントルクがミッション、サスペンション、タイヤを通じて路面へ確実に伝わる
○強化クラッチを組むとスポーツ走行時にすべりが抑えられ、ギアチェンジがスムーズかつ素早く行える

選ぶときはココをチェック

取付　効き　操作性

● LSD は駆動輪と操作輪が同じ FF や 4WD の前輪には 1.5Way や 1Way が適し、FR や 4WD のリアは 1Way から 2Way までマッチ。各 AT 車用もある
●強化クラッチは、ペダル操作に高い踏力が必要になることも。また LSD にも共通する話だが伝達トルクが高まるので、サスペンションやブッシュも強化するといい

LSD　リミテッド スリップ デフ

純正の弱点を補ってより安全により速く

純正デフは差動といって、旋回中に発生する内側と外側のタイヤの回転差を吸収してカーブを曲がりやすくする。しかし状況によってはタイヤの空転によって、車を前に進めるための駆動力が逃げてしまうこともある。
LSD は多数のプレートが並ぶ機構がアクセル操作に応じて差動を止め、両輪を同じように回転させることで両輪から駆動力を路面に伝え、姿勢を安定させるとともにクルマを確実に前へと進める

ノーマルデフ

アクセルONで片輪に駆動力が逃げて進まない

旋回時は外輪に車重が多くかかる。また路面は平坦な直線を除き、凹凸など変化が続くので両輪にかかる車重に差ができ、重さのかかりが少ない側から駆動力が逃げる

コーナリングでは車重が多くかかる外輪側のサスが縮み、内輪側は伸びる。外輪が止まる一方で、内輪は接地が弱まるので前に進みにくくなる

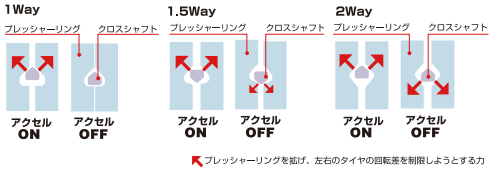
悪路や雪道では路面の抵抗の少ない側が空転し駆動力を逃がす。変化が続く路面ではタイヤの接地状態によって両輪の駆動力に差が出る

LSD

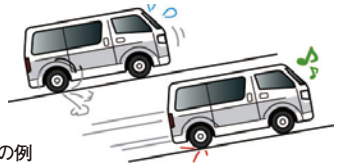
左右のタイヤが同じように回るので前へ進む力が強い

方式には加速時のみ機能する1Way、加減速を問わず機能する 2Way と 1.5Way がある。減速時、1Way の作用は純正と同様。2Way と 1.5Way は姿勢の安定に効果的

方式の種類



加速時はしっかり外輪からも駆動力（トラクション）が伝わる為、純正デフに比べ、コーナーをより速く駆け抜けられる



アクセルON
コーナー加速時の例

リア駆動の 1BOX やミニバンは乗員や積載が少ないと悪路などでリアタイヤが空転することがあるが、LSD を組むと回避しやすくなる

強化クラッチ

高いエンジントルクを確実に伝える!!

トルク伝達を確実にするだけでなく、タイプによってはシフト操作が素早く行え、エンジンが吹け上がるレスポンスさえも高まる

純正形状タイプ

ディスクをフライホイールに圧着する力が強いカバーと摩擦性能の高いディスクを使用。半クラッチが扱いやすく、ライトチューンにマッチする

メタル・カーボンタイプ

ディスクは軽量で、材質には滑りや熱に強いメタルやカーボンが使われる。多少半クラッチにクセがあるが、素早い操作が行え、耐久性も高い。スポーツ走行向き

軽量フライホイール

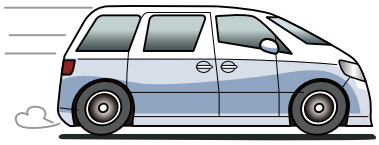
軽量化が見込める材質と形状でつくられる。純正形状のクラッチと併用するとエンジンの吹けるレスポンスを早められる。クラッチとのセット品もある

シングル･ツイン･トリプルプレート

チューニングカーにも対応しフライホイールまでがキット。ディスクが 1 枚のものをシングル、2 枚をツイン、3 枚をトリプルと呼び、より高いトルク伝達ができる

アルミホイール・タイヤ

足もとに魅せられる！軽快に走行できる！

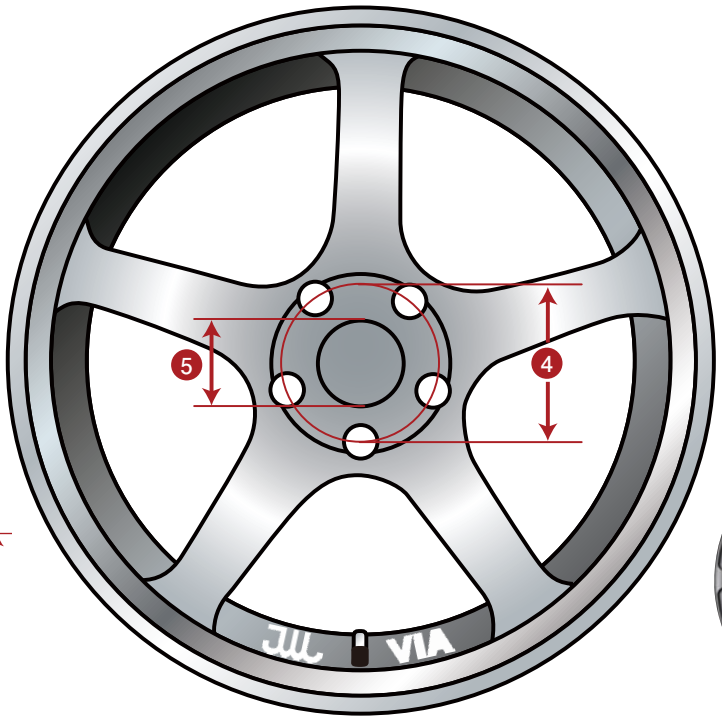


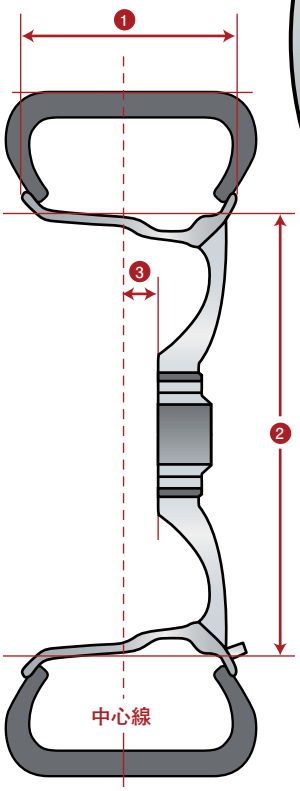
逸品を見つけよう

街中を走るクルマを見ていても、いろいろなデザインのアルミホイールがあることがわかる。まずは愛車をカッコよく仕立てられる、ドライビングがいっそう楽しくなる、ホイール選びのポイントからだ

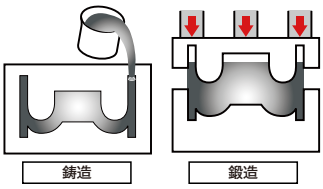
各部の名称と意味

❶**リム幅**「8J」などホイール幅をインチで表示。数字が大きいほど幅が広い。
❷**リム径**「18 インチ」などホイール径をインチで表示。数字が大きいほど大径ホイール
❸**インセット** ホイールの中心線と取付面との位置関係。「40」なら中心から 40 ㎜内側。数字が小さいほど車体外側に出る
❹**PCD・H** 114.3-5H ならナット取付け穴ピッチの直径が 114.3 ㎜で 5 か所ある
❺**ハブ穴径**





軽さで選ぶ



製造技術の進化から軽いつくりが多い

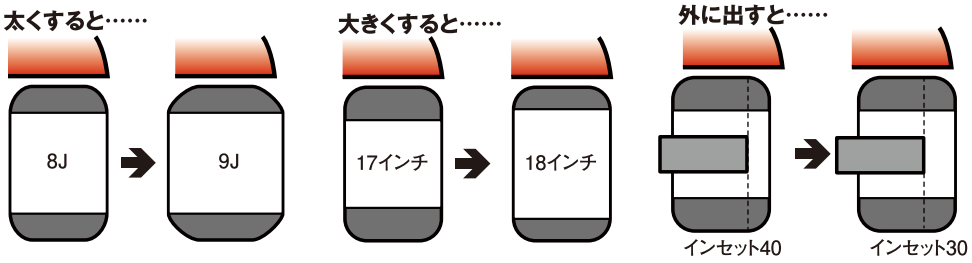
素材を高圧プレスで成形したのが鍛造品。溶解した素材を成形したのが鋳造品。構造は鍛造品が優位に思えるが、鋳造品も頑丈かつ重量を抑える製法が進み、いまや並ぶ性能のものも珍しくない

デザインで選ぶ

機能性を優先するかルックス重視でいくか

たくさんの種類があるがスポーツ走行には剛性があり、軽く、ブレーキの冷却に有効なスポークタイプが最適。ルックス重視なら、ずばり気に入ったモデルを選ぶべし

サイズで選ぶ



リム幅のワイド化

タイヤサイズが同じでも、適正サイズ内でリム幅の少し広いホイールへ組み込んだ場合、タイヤに張りが出て、操舵時にクルマが敏感に反応する

インチアップをする

タイヤ外径を純正品と同等に保ち、ホイールとともにインチ数のみ大きくし、幅も太くする。操作感が高まり、愛車の足元をドレスアップできる

インセットを詰める

同じリム幅でもインセットの数字が小さいと、ホイールが外側に出てフェンダーが近づく。走行では踏ん張りがきき、見た目もいい

ホイールの品質・技術基準

JWL

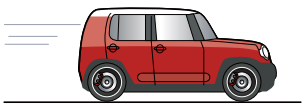
国土交通省が定める乗用車用軽合金製ディスクホイールの技術基準を自社試験で満たしたことを表すものでホイールに表示

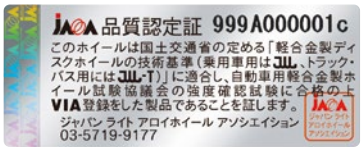
VIA

公的な第三者機関で JWLに関する確認試験を実施し、基準への合致が確認され、VIA登録制度を完了したホイールに表示

JAWA 品質認定証

NAPAC の JAWA 事業部（ジャパンライトアロイホイールアソシエイション）が JWL 技術基準に適合し、VIA 登録を済ませた会員企業の製品に貼付されている「品質の維持向上」の証。品質のトリプルチェックといえ、つまり安心して装着し、使用できるホイールの認定証

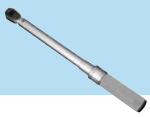




ホイールナットもあわせてかえよう

ホイール交換後は、純正ナットでは取付けできないものもあるので、ホイールと車両に合ったナットを必ず使用する

トルクレンチで締め付けトルクを点検・管理



ナットは自然にゆるみを生じるため、定期的に規定トルクで締め付ける。一般に 100N-m 前後だが、愛車の指定値を把握して行うこと

POINT

こういう効果がある

○たとえばホイールは、純正と同サイズでも軽量なタイプなら素材の特性に基づいた走行性能の向上が見込める
○同じようにタイヤも純正と同サイズでも、グリップ性能が優れると、直進もコーナーも安定性が増す
○すなわちホイールとタイヤを、サイズとグリップ性能ともに変更すれば、フットワークがスポーティになる。インチアップではドレスアップ効果も

選ぶときはココをチェック

取付　サイズ　荷重

●履きたいホイールとタイヤが愛車に収まるサイズなのか、マッチングをよく調べる
●インチアップは選ぶタイヤのロードインデックスを確認。車検にかかわる
●サイズに迷ったら、お店に並ぶインチアップや性能アップ用のセット品を選ぶのも手
●ハイグリップタイヤ装着時は、サスペンションとブレーキも、グリップに負けない強さにするのが理想

タイヤ
種類と特徴

235/35R18 92

- 235：タイヤ幅を表し 235 ならおおよそ 235 ㎜となる。カタログに正確な幅が記載されている
- 35：35 は偏平率で数字が小さいとタイヤが薄い。R はラジアル構造。18 はリム外径でインチ表示
- 92：ロードインデックスで、そのタイヤに負荷することが許される最大の質量。具体値が書かれた一覧がある

S タイヤ	ハイグリップ ラジアルタイヤ	コンフォート ECO タイヤ

- A 断面幅で路面と接地し、タイヤとして機能する部分の寸法
- B 総幅で側面間の表記などを含む寸法。表記を除くと断面幅になる
- C タイヤ外径。適正なインチ数とリム幅のホイールと組み合わせる

摩耗が進み、性能が満たされなくなる状態を警告。残量 1.6 ㎜以下が使用限度

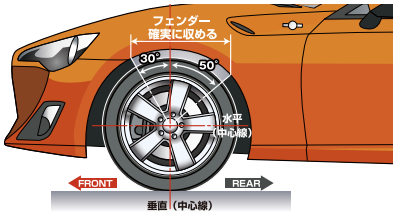
性能と実用はトレードオフ。S タイヤはグリップに優れるが摩耗が速く、ミゾが少ないのでノイズも出る。サスの強化も必須。ECO 系は乗り心地に有利。ハイグリップラジアルは中間的な性格。街乗りからスポーツ走行まで守備範囲が広い

同じ外形でも偏平率と幅の違いで走りがかわる

タイヤの特性は偏平率によって変わる。一般に偏平率が低くなるほど運動性能はよくなり、高くなるほど快適性能がよくなる

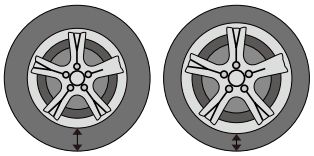
アルミホイール×タイヤの組み合わせ　ココを押さえる

① 保安基準適合の大原則 車体へ確実に収める



保安基準で回転部分の突起が定められ、検査規程では直進状態のときに図示した範囲が車体からハミ出してはならないとされている。ホイールキャップやナットもハミ出しは厳禁

② インチアップは外径とロードインデックスに注意



外径が変わりすぎると車体への干渉や、速度表示に誤差が出る。また偏平化で空気量が減るので、ロードインデックスが満たせるか注意。国内の自動車用タイヤに、JATMA 規格で各サイズの空気圧と最大負荷の関係が規定されており、これに適合させる必要がある

③ 空気圧を定期的に点検し ハンドリングを保つ

左から高すぎ、低すぎ、適正。接地が偏ると操安性が悪化。減りも早い。サイズに合う空気圧へ常に合わせよう

エアロ

スタイリッシュに！ 高いスタビリティで駆けられる!!

好みのスタイルに仕立てて走ろう

エアロパーツで外装を好みのスタイルに飾りながら、走行性能もアップさせよう。空力に優れるクルマは、姿勢が安定し、タイヤも路面にぴたり接地するようになるから、風を切って走れる。また個性的なスタイルは、他人とは違う〝スペシャリティ感〟を演出できる

フロントバンパースポイラー

バンパーごと交換することで印象が変えられ、ローフォルムに見せられる。機能性ではフロントの安定感が増し、冷却系が冷えやすくなる。しかし開口部が少ない方が空力には有利

ターボ車はインタークーラーを魅せたい

スポイラーの形状次第ではアピールになり、風もよくあたって冷えやすくなる。ただ NA 車にもいえるが、異物が冷却パーツを直撃すると一大事。開口部にネットがつくタイプがいい

ウインカーの高さに注意

前面のウインカーは取付高さと位置の範囲が決まっている。乗用車は路面から下端が 35 ㎝以上を確保し、車両外側から 40 ㎝以内。逸脱する場所への移動や取外しは厳禁だ

リップスポイラー

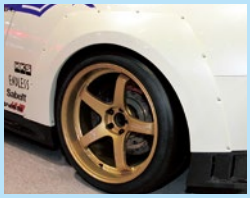
純正バンパーをベースにフロントの安定性や接地性、ブレーキの冷却性能を高められる。路面側の下部が車両後部に向ってアンダーパネル状に折り返してつくられていると、より装着効果が得られる

ボンネット

車両前方から流れてくる風が通り抜けられるダクトがついていると、ラジエターの冷却効率向上や、エンジンが発する熱の排出効果につながる。純正品の材質がスチールなら軽量化にもなる

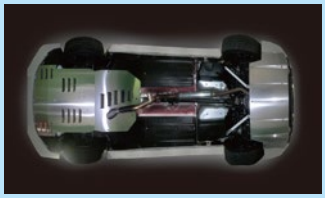
オーバーフェンダー・ワイドフェンダー・フェンダーモールの車検

カッコいいが装着後に車幅がノーマルから左右合計 20 ㎜を超えて広がるフェンダーは原則、改造申請が必要。範囲内に収まっても、リベット留めや一体化は改造申請の対象になり得る



アンダーパネルで得られる車両下面の空力は効果的！

凹凸のある車両下面を平面的に覆うアンダーパネルは、路面と車両の間の空気の流れを整流することで高いダウンフォースを発揮。写真のようなルーバー付きは、エンジンルーム内の熱気を排出する効果もある。また、外部突起などに留意しなくてよいので法的な心配も少ない



POINT

こういう効果がある

○愛車を個性的に仕上げられ、ドレスアップがきわめられる
○空力性能が向上し、ストレートもコーナーも安定性が高まる
○レーシングカー同様にサスペンションやタイヤの能力をとことん活用する走りができる

選ぶときはココをチェック

寸法　形状　取付

●全長、全幅、全高、最低地上高の変化に注意。なによりエアロパーツ装着後も愛車が保安基準に適合してなくてはならない
●エアロパーツは、塗装が必要になるものが少なくない。取り付け工賃を含め、費用をしっかり把握しよう
●装着に、車体への穴あけなどの加工を要するパーツもある。確実な取り付けには避けられないところだ

GTウイング

公道走行には幅・高さの基準がある

リアの接地性が増す。公道での使用は両サイドが車体の最外側と165㎜以上離れているか、または車体との隙間が少ない車検対応品に限られる

エアロミラー

空気抵抗に有利な形状で、保安基準の規定に合わせて決められた範囲の後方視界が確認でき、接触時に可倒するものが車検対応品としてある

リアデフューザー

リアバンパーに追加する。走行風がフロント側からフロアと路面の間を流れてくる。それを車両後方へ導き出し、走行安定性を向上させる

サイドステップ

ローダウンが強調できることはもちろん、フロントスポイラーと連携し、走行風の下部からの逃げを防ぎ、リア側へ早く流れるようにする

リアスポイラー

車両のフロント側からボディ表面付近にそって流れてくる走行風を、車両後方へ加速させるように流し、スタビリティアップに活かす

アンダーパネル

走行風が、リアバンパー側に速く流れるように機能する。走行安定性に効くダウンフォースが強められ、またエンジンの冷却もアシストする

エアロチューンのポイント

① 全長・全幅・全高・形状を守る

改造申請なしに変更できる寸法の範囲が決まっており、その中に収めると安心だ。なお軽自動車の車体サイズには現行規格と従来規格があるので混同しないように気をつけよう

② 装着はボルト・ナットで確実に行う

高速道路やハイスピードのサーキット走行では、クルマは想像以上に高い風速を受ける。パーツの一部が押されたときに脱落しかけないように、プロの手でしっかり取り付けてもらおう

③ 軽量化にも注目する

重量の軽いバンパースポイラーなどを装着し軽量化を行うと、加速が早まる効果が期待できる。また、車両の前後や高い位置に付くパーツの軽量化を進めると、ハンドル操作に対してクルマが素早く応えて動くようになる

ドレスアップ インテリア

素材にこだわることでワンランク上の雰囲気を手に入れる

インテリアのカスタマイズで大事なのは、オーナー自身が求めるイメージを妥協せず実現する、ということ。素材や色、手触りなども含めてこれだ！　というものを見つけたい

シートカバー

POINT

こういう効果がある

○ノーマルでは得られない高級感を実現
○色にこだわることで大きなイメージチェンジが可能

選ぶときはココをチェック

コーディネイト

●高級感を求めるならレザー素材やキルト仕上げといった具合に、イメージにマッチしたものを選ぶ

フィッティング

●装着した際、ノーマルかと思えるようなフィッティングレベルが高いものがベストチョイス

素材に加えてステッチの入れかたやそのカラー、デザインなどさまざまなものがラインアップ。オーダーが可能となっているものも多いので、予算に合わせて選びたいところだ

光モノ

LED ルームランプをセットしたとき、その光を反射するパーツをポイントごとにセットしておくと、カスタマイズの効果が大きくなる。夜間にどう見えるのかを考えて選びたい

フロアマット

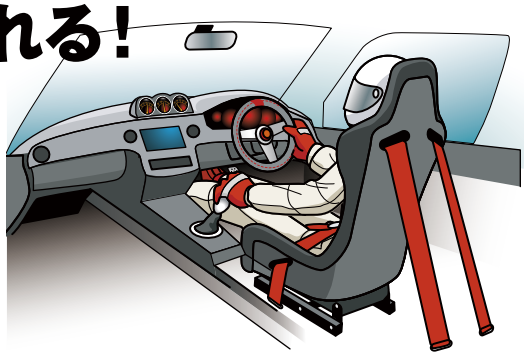
素材、デザインによって高級さやスポーティさなど、さまざまなイメージを演出可能。運転席用だけではなく、セカンドシートやカーゴスペースも含めてコーディネイトしたい

その他レベルアップアイテム

シートやフロアマットと共通イメージのダッシュマットやネックパッドをセットすると、室内のイメージは一気に完成度が高くなる。ハンドルカバーもイメージチェンジ効果が大きい

スポーティ インテリア

コクピットが飾れる！レーサー気分で運転もできる!!



インテリアのカスタマイズと、走りを満喫するために、シートとステアリングをスポーツタイプに交換しよう。体がホールドされ、操縦性が高まり、爽快なドライビングができるようになる

POINT

こういう効果がある

○スポーツシートやバケットシートは体をしっかりホールドし、「人車一体」クルマを操る実感が強まる
○スポーツステアリングは操舵感がよく、ステアリング径によっては、切り込む操作が鋭くできる

選ぶときはココをチェック

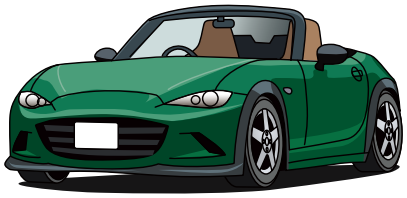
取付 **機能**

●シートは自分がクルマを使う環境を考えて選ぶ。フルバケットシートは 2シーターを除き左右同時交換は不可
●ステアリングはエアバッグを残すタイプか、それともスポーツ性を優先するか、前者は車種設定がやや少なめ

フルバケットシート

体をしっかりサポート スポーツカーでのサーキット走行に最適

低めの着座位置で体が包まれるように収まり、しっかりホールドされるモノコック型。クッションが薄めなので、クルマの動きを感じ取りやすい。スポーツ走行向き



スポーツシート

多くのクルマにマッチ 走行シーンに広く対応し快適性も○

ホールド性に優れながら、クッションは多くが体になじむ硬さ。純正品と同様にリクライニング機構も備わる。多くのクルマに取り付けられ、広い用途に使える

スポーツステアリング

グリップは手にフィットする素材が採用され、操作性のいい形状や外径につくられている。エアバッグは使えない。エアバッグ装着車で取外した場合は要任意保険の見直し

車検対応ボス

スポーツステアリングの交換はボスが必要。車検対応の構造や強度を備えるボスを選ぶ

エアバッグが使える純正交換タイプ

純正エアバッグが活かせる。純正と同径で握りやすくしたもの、運転ポジションやメーターの視認性を考え小径にしたものがある

スポーツシートはシートポジションの調整ができるので街中の運転も楽。扱いやすい

車検には専用レールが必要

レールは運転席と助手席用があり、メーカーがそのシートに合わせて設計し、強度証明がなされた専用レールと組み合わせて初めて保安基準に適合する。車検時には品番等の確認を受ける場合がある

レーシングカーばりの脱着式ボスは意外に実用的

装着はスポーツステアリングに限られるが、ローポジションのフルバケットシートや車高の低いスポーツカーで乗降がスムーズになったり、愛車の盗難予防になったりと実用的

操作性アップや雰囲気づくりにあわせて交換しよう

シフトノブ

自分が握りやすい形状にしたり、高さを調整できる。また、材質が異なるものにして重量を軽く、もしくは重くするとシフトフィールを変えられ、ギアチェンジが面白くなる

フルハーネスベルト

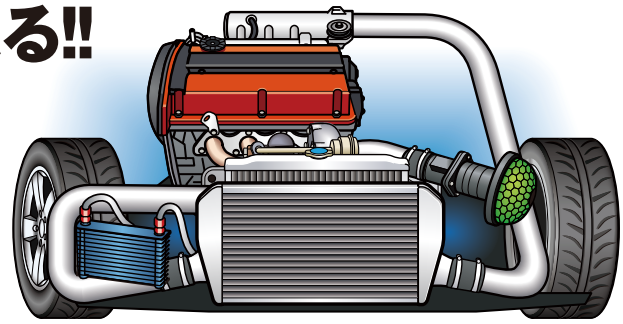
スポーツ走行で大きなGを受けても、ドライビングポジションがしっかり保てる。FIA公認モデルを選択すれば、サーキットでは万全。なお公道走行では純正ベルトを使用すること

追加メーター

OBD（故障診断機能）が装備されていれば、対応するマルチメーターを使うとエンジン情報が簡単に見られる。状態の把握だけでなく、運転の分析や燃費走行など便利に使える

エンジン・クーリング

愛車を安定したパワーで走らせられる!!



POINT

こういう効果がある

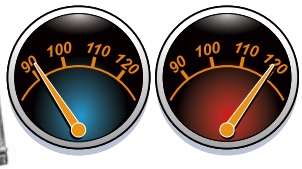
○走行時にエンジンオイルや冷却水、吸入空気を適温に保てるとエンジンパワーが安定し、エンジン性能をフルに発揮させられる。スポーツ走行では温度の急上昇を抑えられ、負荷が緩和でき、サーキットコースでは連続周回がしやすくなる

選ぶときはココをチェック

取付 **機能**

- ●走行目的やエンジンパワーに見合った冷却性能が備わるパーツを選択する。冷え過ぎもよくない
- ●ラジエターはコアの厚みが増すタイプでは、周辺部分に加工を要する
- ●オイルクーラーとインタークーラーの装着は、車体やバンパーの加工が必要な場合がある

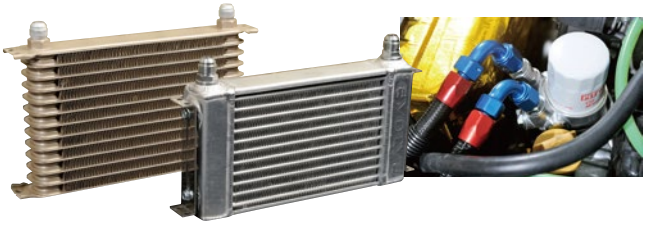
ラジエター



水温の上昇を抑制

エンジン内部で発生する多量の熱は、冷却水が循環して冷却される。そのため高効率のラジエターで冷却水を素早く適温まで下げると、性能と耐久性が保てる。熱の吸収を促す成分でできたクーラントの併用も有効

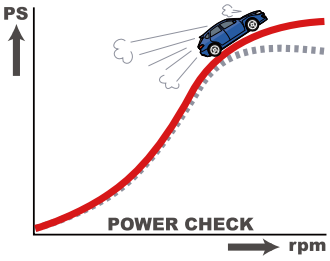
オイルクーラー



オイルの機能を維持

油温が高まるとエンジン内部の潤滑などの作用が低下する。空冷式オイルクーラーを装着すれば安定した効果が見込め、オイルの機能が保てる。オイルフィルター移設式を選ぶとメンテナンス性も向上

インタークーラー



吸入温度を最適化

ターボ車の吸入気は、過給で高温になり、体積が増しながら酸素密度が薄まる。外気温の高い日はそれが顕著。冷却性能の高いインタークーラーで、燃焼に最適な温度にすれば本来のパワーが得られる

エンジン回転数が上がって吸入空気量が増すほど効果が見込める

のちのチューニングも考える

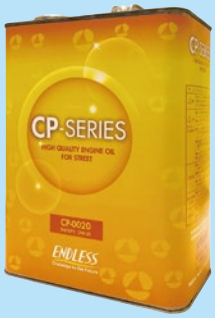
ECU 書き換えや純正形状のスポーツタービン装着は、定番で臨みやすいメニューだ。早期に進む予定なら、初めに対応できる冷却パーツを選んでおくのも手だ

愛車のエンジンにベストなオイルを見つけよう

冷却チューンの1つとしてエンジンオイルの性能にも目を向けよう。エンジンフィールのアップや耐久性の確保につながる!

ターボ

ターボエンジンは、燃焼時の爆発する力が強く発熱量も多い。そんな環境下でも油膜が保持され、熱にも耐える性能が与えられている



ECO

低温域から高温域まで、潤滑や保護などの安定した効果を発揮。環境や燃費志向の ECO カーのエンジンをストレスなく働かせる

NA

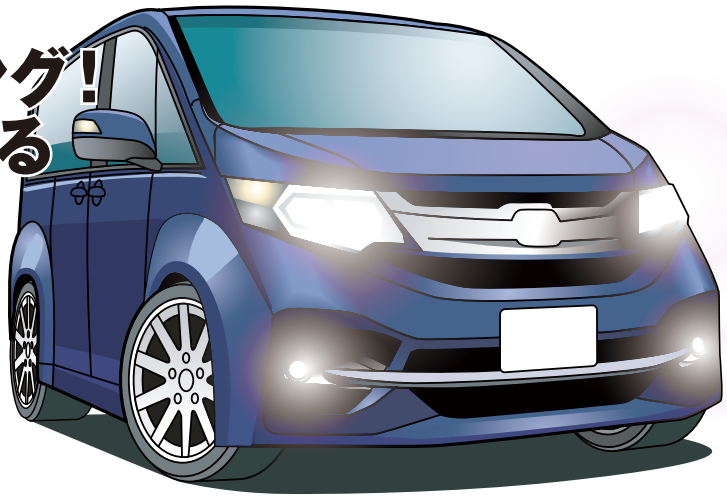
NA エンジンは軽い吹け上がりや、アクセルレスポンスを求められる。頑固な被膜を形成しながら、フリクション抵抗も抑える特性

特定エンジン専用

直列 4 気筒に 6 気筒とエンジンの長さや、水平対向にロータリー、そしてV型など構造によるオイルの循環、潤滑に合わせた特性

ライティング

夜でも明るくドライビング！色・光で自己主張もできる



POINT

こういう効果がある

○ヘッドライトのバルブを高性能化すると、視認性の向上が見込め、余裕をもって走れるばかりか、他車や歩行者へ存在も知らせやすくなり安全運転につながる。もちろん愛車が輝き、個性化できる

選ぶときはココをチェック

光度 | 光色 | 個数 | 取付

●灯火類は保安基準で明るさや色、個数、取付高さなどが細かく決まっている。信頼のあるメーカーのカタログやホームページを参照し、車検対応が明確に記載されたアイテムを選ぶこと

注意！！ LED チップの特許品および（クロス）ライセンス契約をしていない LED チップを使用している製品は、特許侵害（違法）の恐れがありますので、特許品および（クロス）ライセンス契約をしている LED チップを使用しているメーカーの製品をご使用ください。

① HID搭載車なら高性能バルブを装着

明るさや色あいが変わり視認性がグンとアップ

今や純正装備されることが多いHID式ヘッドライトやフォグランプ。だが、純正品で物足りなさを感じていれば、高性能 HID バルブに交換したい。白色系のクッキリした射光が前方に延び、視認性が驚くほどアップする

② ハロゲンバルブ車ならアップグレード

HIDコンバージョンキット

ハロゲン式ヘッドライトやフォグを HID 式に変更できるキットがあり、純正 HID 式と同等以上の明るさにチューンアップできる。ただし価格はそのパーツ構成から少し高め

適合表に注意

車種により一部の年式やグレードが対応しないケースは、カタログの適合表に注記がある

高性能ハロゲンバルブへの交換

ハロゲン式ヘッドランプやフォグランプの明るさを手軽に増せる。消費電力を抑えながら、純正の 2 倍相当の明るさになるタイプもある

③ 純正ハロゲンバルブを最新のLEDバルブ化

少ない消費電力ではっきり照らせる

LED ヘッドライトとフォグランプは点灯が瞬時で配光が明るく綺麗。消費電力の少なさも魅力だ。最新を求めるならコレで決めよう。また、明るさ、配光が保安基準に適合するものを選ぼう

④ ポジションランプやライセンス灯をLEDに

レスポンスよく光りアピール度＆安全性がUP

ポジション球やライセンス灯をＬＥＤに替えることで、よりスタイリッシュにドレスアップができる。外装ライトは保安基準に適合するものを選ばなければならない。特にライセンス灯は不適合品が多いので注意が必要

ルームランプ

ルームランプ用 LED バルブで室内の明るさが倍増。フロント以外にセンターやリア、フットランプ用もあり

ウインカーランプ

ウインカーランプも LED バルブ化ができ、点灯がハッキリ！安全性の向上にも寄与する

これらに使用する LED バルブは小さいが、車検対応品は保安基準に合致させる仕組みとなる

知っておきたい灯火の色と用語

灯火色	
ヘッドライト＝	灯火色はすべて白色 （H17 年生産車までは黄色可） ※ 要保安基準適合バルブ装着
ウインカー＝	橙色
ブレーキ・尾灯＝	赤色
バックランプ＝	白色
ライセンス灯＝	白色
用語	
カンデラ＝	照射した対象物（路面など）の光の明るさ（光度）を表す
ケルビン＝	色の温度を表す 値小・黄色→値大・青色
ルーメン＝	LED バルブの光源の照度を表す

エキゾースト

エンジンの吹け上がりが速くなり サウンドも軽やかになり スピード感が高まる!!

純正品はメインパイプやサイレンサーの内径が細い。スポーツマフラーへの交換後はエンジンの回転上昇が速まり、加速感が増す。サウンドもスポーティな音色が響く

スポーツマフラー

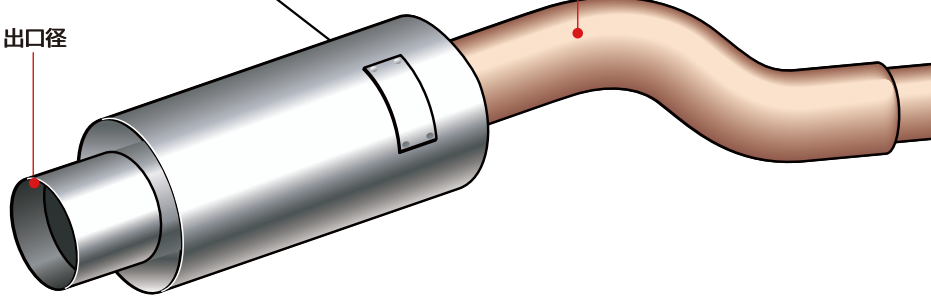
公道走行が行える

保安基準に合致するスポーツマフラーのほとんどは、純正のフロント・センターパイプと組み合わせて使用する。交換によりメインパイプ径が太くなり、サイレンサー（消音器）の仕組みも変わるので性能がアップするわけだ

認証プレート

排気騒音規制値を満たす性能を有する証。交換用マフラーの事前認証制度が適用される車両用は、性能等確認済みの表示プレートがつく

JASMA（日本自動車スポーツマフラー協会）プレートは、平成 22 年 3 月 31 日までに製造された自動車を対象としている



個性をみつけよう

① テールのデザイン

テールはまさに嗜好品。ドレスアップも兼ねられる。好みの形状を基本に選ぶといい。メーカーによっては専用リアスポイラーを設定し、テールの位置を移設するタイプもある

シングル出し

W 出し

4 本出し

② 材質とテールの処理

一般に軽さは同形状ならチタンが最軽量。スチールとステンレスは同等。それ以外は低音傾向。テールのみチタンやカーボンは、メインの材質で性格が決まる

③ カスタマイズ志向とチューニング志向

同じクルマ用でもレイアウトに種類がある

コンフォート系は純正品のレイウアトを基本にする。一方、レーシング系はメインパイプの曲がりが少なく直線的な配置。排出ガスが速く流れ、軽量化にも有利な構造が多い。スポーツ走行に向く

コンフォート

見栄えがよく音量も適度

レーシング系

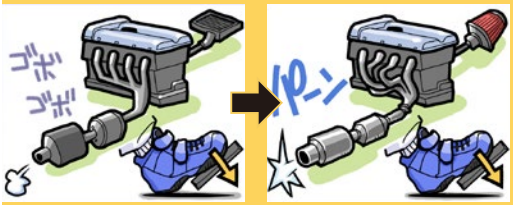
排気の抜けがよく音質もやや低め

マフラー・フロントパイプ・キャタライザーを組み合わせて使う場合は要確認

通常は音量や排出ガスの試験を、各単体で車両に装着し受けている。併用では条件が変わって、音量等が保安基準外になるケースもある。また効率が上がると、燃料噴射量などの補正も必要となる

POINT

こういう効果がある

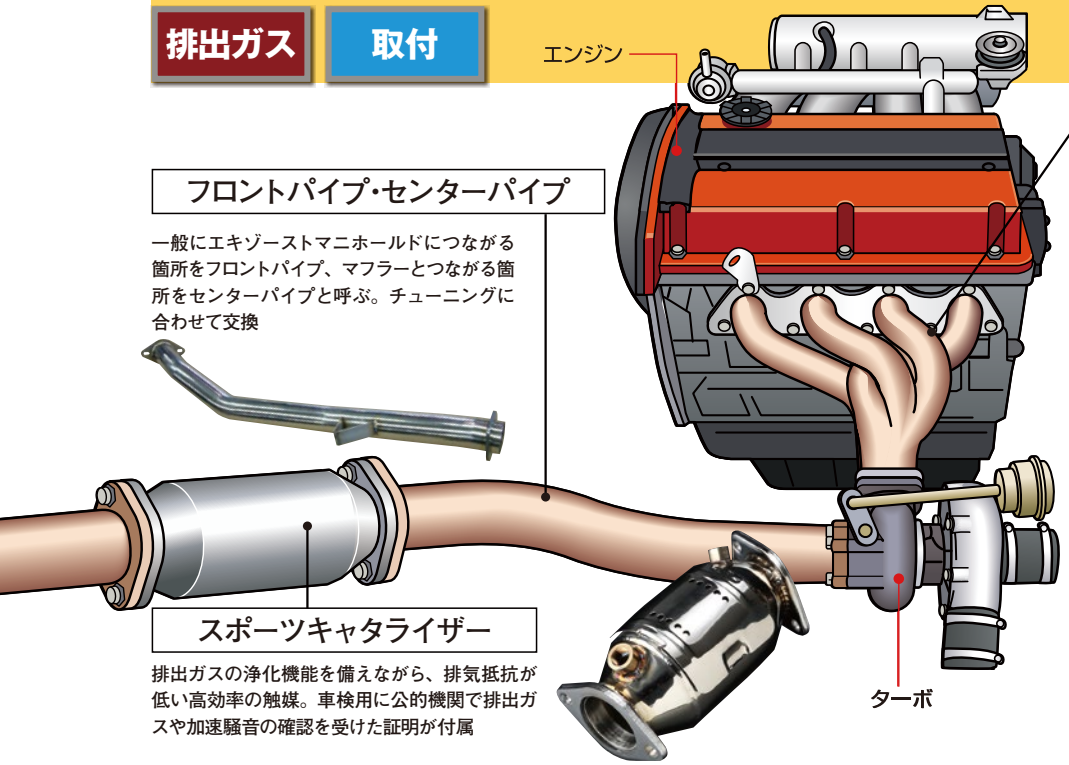


○スポーツマフラーを装着するとエンジンのフィーリングがアップ。気持ちよく吹け上がる
○テールエンドに迫力や美しさが加わるので、同時にリアビューのドレスアップも行える
○エキゾーストノートも音色に雰囲気が加わり、アクセルワークがだんぜん面白くなる
○エキマニやスポーツ触媒など、ステップアップでパフォーマンスをもっと高められる

選ぶときはココをチェック

音量 / 形状 / 排出ガス / 取付

●マフラーを換えて公道を走るには車両の年式ごとに定められた排気騒音、そして最低地上高を満たす必要がある
●JASMA(日本自動車スポーツマフラー協会)認定マフラーや、性能等確認済み表示のつくマフラーを選べば保安基準への適合が確実



フロントパイプ・センターパイプ

一般にエキゾーストマニホールドにつながる箇所をフロントパイプ、マフラーとつながる箇所をセンターパイプと呼ぶ。チューニングに合わせて交換

スポーツキャタライザー

排出ガスの浄化機能を備えながら、排気抵抗が低い高効率の触媒。車検用に公的機関で排出ガスや加速騒音の確認を受けた証明が付属

エキゾーストマニホールド

通称エキマニ。排出ガスが初めに通過し、NA は触媒付きも多い。その形状でエンジン特性が中高回転向きなどに変わる。車検では触媒同様の証明を求められる例もある

NA エンジン

ターボエンジン

車両の年式・製造年月で保安基準の適用が異なる

※乗車定員 6 名以下の場合

スポーツマフラーは保安基準の騒音規制値や認められる形状が車両の年式で異なる。購入前に車検証で初年度登録と備考欄を確認して、該当する基準を確認しておこう

平成元年 騒音規制車	騒音規制値は車両を停止状態で計測する近接排気騒音がフロント・リアエンジン車ともに 103 dB以内。JASMA 認定品は 100 dB以内
平成10・11年 騒音規制車	車検証に平成 10 (11)年騒音規制車 近接排気騒音 XXdBの記載があり各 96dB、100dB以内。JASMA認定品は各 95dB、98dB以内
平成22年4月以降 生産車	車検証にマフラー加速騒音規制適用車とあれば、前項の規定を含む交換用マフラーの事前認証制度が適用。インナーサイレンサー式も不可
平成28年 騒音規制車	後付けのスポーツマフラーは事前認証制度が適用される。車両によっては規制値が異なる場合がある。

音量のイメージ

110 dB	電車が速い速度で激しく行き交う、また架橋の上を電車が通過するときの音を、その真下で聞くイメージ
100 dB	交通量の多い道路をクルマが頻繁に行き交うときのイメージ。10dBの差があると受ける印象はかなり違う
90 dB	犬が吠える鳴き声や、機器が稼働している騒々しい工場の中、重機が近くを走る時の音量イメージ

エアクリーナーの同時装着でさらにフィーリングアップ

純正は吸入音が抑えられ、吸入した空気がエンジンに届くまでの経路も長い。つまり吸入抵抗が高い。マフラーと同時に交換すれば吹け上がりの軽さが増す

オープンタイプ

空気の入口、純正エアクリーナーボックスを外して装着。フィルターが露出し、外気を直接吸うので効率に優れ、吸入音も楽しめる

純正交換タイプ

純正エアクリーナーボックスは残し、内部のフィルターのみ低抵抗にする。多くの空気は吸えないが吸気温度が安定。吸気音も静か

よい混合器・よい圧縮・よい火花というエンジン性能引き出す三原則がある。スパークプラグの摩耗はパワーダウンのもと。吸排気チューン時は、高性能の新品プラグへ交換したい

一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会(NAPAC) 会員一覧

2019 年 4 月 4 日現在 158社・50 音順

主力パーツアイコン
※アイコン以外のパーツを取り扱っている場合がございます。

エアロ　サスペンション　ブレーキ　インテリア　アルミホイール・タイヤ　エキゾースト　エンジン・クーリング　ライティング　駆動系　車体剛性パーツ

(株)アールアイエイチ		〒272-0137　千葉県市川市福栄4-13-6	☎047-300-2303
アールプライド(株)		〒345-0023　埼玉県北葛飾郡杉戸町本郷759-2	☎0480-36-2710
(株)アイリックス		〒277-0065　千葉県柏市光ヶ丘4-10-7	☎04-7128-9810
(株)青木科学研究所		〒106-6155　東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー18F	☎03-3403-4301
(株)アクセス		〒417-0002　静岡県富士市依田橋343-1	☎0545-33-0033
(株)アクセルオートコーポレーション		〒454-0814　愛知県名古屋市中川区五月南通2-7	☎052-354-2533
(株)アクレ		〒208-0011　東京都武蔵村山市学園3-19-2	☎042-516-9600
アサヒライズ(株)FET事業部		〒379-2131　群馬県前橋市西善町2004	☎027-280-8001
(株)アドベント		〒183-0005　東京都府中市若松町2-27-22	☎042-306-7321
アピオ(株)		〒252-1124　神奈川県綾瀬市吉岡 651	☎0467-78-1182
(株)阿部商会		〒101-0053　東京都千代田区神田美土代町3-2	☎03-3233-2213
(株)E.Rコーポレーション ROWEN事業部		〒473-0939　愛知県豊田市堤本町山畑7番地	☎0565-52-8555
(株)E・M・C アルミホイール事業部		〒439-0009　静岡県菊川市吉沢774-1	☎0537-35-1221
(株)イエローハット	※総合小売チェーン系会員のため優先順位は未記載	〒101-0032　東京都千代田区岩本町1-7-4イエローハット本社ビル	☎03-6866-1681
(株)イケヤフォーミュラ		〒322-0046　栃木県鹿沼市樅山町427-1	☎0289-64-5652
伊藤忠オートモービル(株)		〒107-0061　東京都港区北青山2-5-1 伊藤忠ビル16F	☎03-3497-4557
(株)イリスインターナショナル		〒242-0028　神奈川県大和市桜森2-2-5	☎046-200-2628
(株)インターテクノロジー		〒102-0072　東京都千代田区飯田橋2-1-2 葛西ビル1F	☎03-3262-7000
(株)ヴァルド		〒569-0072　大阪府高槻市京口町10-13	☎072-673-3000
(株)ウェッズ		〒143-0016　東京都大田区大森北1-6-8 ウィラ大森ビル6F	☎03-5753-8213
(株)ウッドベル		〒222-0001　神奈川県横浜市港北区樽町1-26-1	☎045-541-1881
(有)エアスト		〒571-0077　大阪府門真市大橋町24-17	☎072-800-2288
(株)エイチ・ピー・アイ		〒132-0025　東京都江戸川区松江2-10-20	☎03-5663-2551
エイティーエス(株)		〒701-1133　岡山県岡山市北区芳賀5315	☎086-286-9331
(株)EXIZZLE-LINE		〒924-0016　石川県白山市宮永市町 613-1	☎076-214-6293
(株)エムエルジェイ		〒105-0004　東京都港区新橋6-4-9	☎03-5473-7588
エムケーカシヤマ(株)		〒385-0009　長野県佐久市小田井1119	☎0267-67-7700
M'z SPEED		〒578-0966　大阪府東大阪市三島3-8-7	☎06-6748-2603
(株)M-TEC		〒351-8586　埼玉県朝霞市膝折町2-15-11	☎048-462-3131
エンケイ(株)		〒431-1304　静岡県浜松市北区細江町中川7000-26	☎053-522-5245
(株)エンドレスアドバンス		〒385-0014　長野県佐久市三河田522-3	☎0267-67-0535
(株)オーエス技研		〒702-8001　岡山県岡山市中区沖元464	☎086-277-6609
オーゼットジャパン(株)		〒430-0807　静岡県浜松市中区佐藤2-35-20	☎053-469-5011
(株)オートバックスセブン	※総合小売チェーン系会員のため優先順位は未記載	〒135-8717　東京都江東区豊洲5-6-52 ＮＢＦ豊洲キャナルフロント	☎03-6219-8700
(株)オクヤマ		〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4539	☎045-934-5334
小倉クラッチ(株)		〒376-0011　群馬県桐生市相生町2-678	☎0277-54-7101
カーツ(株)		〒704-8588　岡山県岡山市東区西大寺五明387-1	☎086-942-1111
(有)カープラザワールド		〒146-0085　東京都大田区久が原5-28-5	☎03-5748-7737
(株)カーポートマルゼン		〒530-0004　大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル5F	☎06-6348-8848
(株)カーレッグ		〒152-0003　東京都目黒区碑文谷5-12-14 深澤ビル202	☎03-6425-7340
(有)嘉衛門		〒158-0082　東京都世田谷区等々力7-7-1	☎03-5706-7777
(株)カクタスコーポレーション		〒583-0871　大阪府羽曳野市野々上3-37-1	☎072-952-0567
(株)カズキオート		〒599-8247　大阪府堺市中区東山45-1	☎072-235-6252
(株)ガレージ・ベリー		〒351-0111　埼玉県和光市下新倉 5-18-21	☎048-469-1708
(株)キャロッセ		〒370-0018　群馬県高崎市新保町1664-1	☎027-352-3578
(株)キャン・アソシエイツ		〒224-0037　神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南4-1-7	☎045-941-4341

協永産業(株)		〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場4-4-21	☎06-6244-0321
(株)共豊コーポレーション		〒457-0077　愛知県名古屋市南区立脇町4-3	☎052-824-7630
(株)錦之堂		〒503-0956　岐阜県大垣市大外羽3-26-2	☎0584-89-6656
(株)クイック		〒538-0041　大阪府大阪市鶴見区今津北3-2-12	☎06-6969-2000
(株)クライメイト		〒930-0166　富山県富山市中老田665-4	☎076-471-6071
(株)クリーンエクセル	※ケミカルメーカーのため優先順位は未記載	〒258-0019　神奈川県足柄上郡大井町金子1734-1	☎0465-83-6663
(株)グリーンフラッグ		〒272-0837　千葉県市川市堀之内3-26-9	☎047-374-0701
(株)クリムソン		〒536-0008　大阪府大阪市城東区関目3-9-27	☎06-6180-1511
(株)グループ・エム・レーシング		〒351-0015　埼玉県朝霞市幸町3-12-24	☎048-485-9627
(株)ケースペック		〒447-0075　愛知県碧南市立山町4-32-2	☎0566-43-5507
(株)ケイアイティ・ジャパン		〒532-0011　大阪府大阪市淀川区西中島7-7-3	☎06-6838-3307
(株)ケイエスピーエンジニアリング		〒208-0034　東京都武蔵村山市残堀2-29-1	☎042-569-2930
(有)K-BREAK		〒583-0009　大阪府藤井寺市西大井473-1	☎072-931-1000
KYB エンジニアリングアンドサービス		〒105-0011　東京都港区芝公園 1-6-7	☎03-6895-1265
(株)ケミテック		〒278-0001　千葉県野田市目吹1569	☎04-7192-8460
5ZIGENインターナショナル(株)		〒581-0845　大阪府八尾市上之島町北6-5	☎072-995-8005
(株)コスミック		〒454-0935　愛知県名古屋市中川区東起町4-61	☎052-383-6111
(株)コラント		〒501-6311　岐阜県羽島市上中町長間1881	☎058-397-0303
(株)シーアールエス		〒561-0891　大阪府豊中市走井1-21-20	☎06-6852-9000
(株)シーアールケイ		〒456-0032　愛知県名古屋市熱田区三本松町2-18	☎052-871-2055
C-WEST(株)		〒662-0863　兵庫県西宮市室川町4-26	☎0798-72-9000
CSマーケティング(株)		〒595-0053　大阪府泉大津市青葉町2-7	☎0725-32-2801
(株)ジーコーポレーション		〒448-0842　愛知県刈谷市東陽町2-1	☎0566-25-8105
(株)ジェイスタイル・コーポレーション		〒456-0013　名古屋市熱田区外土居町9-14	☎052-681-1050
(株)シックスセンス		〒580-0014　大阪府松原市岡6-1-28	☎072-330-0001
(株)ジャオス		〒370-3504　群馬県北群馬郡榛東村広馬場3586-1	☎0279-20-5511
(株)ジャパン三陽		〒310-0844　茨城県水戸市住吉町126-6	☎029-247-8263
(株)シルクロード		〒636-0245　奈良県磯城郡田原本町味間310-1	☎07443-4-1155
(株)シンボリ ウォーカージャパン		〒462-0801　愛知県名古屋市北区新堀町68	☎052-911-9424
(株)スーパースター		〒582-0020　大阪府柏原市片山町18-66	☎072-975-3600
(株)SPREAD		〒105-0013　東京都港区浜松町1-21-4 港ビル4F	☎03-6809-1740
(株)スマート		〒651-2412　兵庫県神戸市西区竜が岡5-28-9	☎078-380-2780
住友ゴム工業(株)（タイヤ国内リプレイス営業本部）		〒135-6005　東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル	☎03-5546-0153
(株)ZERO-1000		〒454-0936　愛知県名古屋市中川区高杉町318	☎052-365-3001
(株)セントラル		〒182-0035　東京都調布市上石原1-32-34	☎0424-86-4451
(株)太平タイヤ		〒454-0955　愛知県名古屋市中川区富田町包里東亥寅新田1227-1	☎052-309-3553
(株)タイヤワールド館ベスト		〒983-0036　宮城県仙台市宮城野区苦竹2-6-5	☎022-231-3411
大和ラヂエーター工業(株)		〒697-0302　島根県浜田市金城町今福1846	☎0855-42-1117
(有)高勢産業		〒197-0834　東京都あきる野市引田782	☎042-559-6481
(同)タカイチ		〒338-0013　埼玉県さいたま市中央区鈴谷7-6、2-608	☎048-762-9262
(株)タカマコンペティションプロダクト	※総合商社会員のため優先順位は未記載	〒108-8545　東京都港区芝浦3-11-4	☎03-3456-0181
(株)タナベ		〒562-0031　大阪府箕面市小野原東1-4-15	☎072-728-6700
辰巳屋興業(株)		〒466-8711　愛知県名古屋市昭和区白金3-20-15	☎052-882-8501
(株)ティー・エー・エス		〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅4-26-13 ちとせビル3F	☎052-618-7500
(株)TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY		〒934-0035　富山県射水市新堀34-5	☎0766-86-0117
(株)ティーエスエム		〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4838-1	☎045-482-6355

一般社団法人 日本自動車用品･部品アフターマーケット振興会(NAPAC) 会員一覧

2019 年 4 月 4 日現在 158社・50 音順

主力パーツアイコン
※アイコン以外のパーツを取り扱っている場合がございます。

エアロ　サスペンション　ブレーキ　インテリア　アルミホイール・タイヤ　エキゾースト　エンジン・クーリング　ライティング　駆動系　車体剛性パーツ

(株)ティエムシー		〒561-0842　大阪府豊中市今在家町18-10	☎06-6866-1431
(株)ディクセル		〒566-0044　大阪府摂津市西一津屋3-3	☎06-6340-0121
(株)テイン		〒245-0053　神奈川県横浜市戸塚区上矢部町3515-4	☎045-810-5511
(株)テクノピア		〒101-0065　東京都千代田区西神田3-1-2 ウインド西神田ビル3F	☎03-3221-4761
(株)テストアンドサービス		〒216-0035　神奈川県川崎市宮前区馬絹1780-6	☎044-854-1945
(株)デルタ		〒552-0007　大阪府大阪市港区弁天2-2-17	☎06-6572-4433
(株)ドゥオール		〒152-0003　東京都目黒区碑文谷5-20-1	☎03-3794-1689
(株)東京車輪		〒116-0003　東京都荒川区南千住3-5-7	☎03-3807-0081
(株)東名パワード		〒194-0004　東京都町田市鶴間5-4-27	☎042-795-8411
TONE(株)	※ツールメーカーのため優先順位は未記載	〒556-0017　大阪府大阪市浪速区湊町2-2-57難波サンケイビル12F	☎06-6649-5980
(株)戸田レーシング		〒714-1215　岡山県小田郡矢掛町中640-1	☎0866-83-1202
トピー実業(株)		〒141-8667　東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー6F	☎03-3495-7370
(株)トムス		〒158-0082　東京都世田谷区等々力6-13-10	☎03-3704-6801
(株)トライアルファ		〒182-0026　東京都調布市小島町 1-21-6 アジャンタ調布 301	☎042-426-7186
(株)トライキッツ		〒143-0003　東京都大田区京浜島2-17-6	☎03-5755-9977
(株)トラスト		〒289-1605　千葉県山武郡芝山町大台3155-5	☎0479-77-3000
(株)トレジャーワンカンパニー		〒224-0025　神奈川県横浜市都筑区早渕1-31-20	☎045-590-0278
永井電子機器(株)		〒213-0033　神奈川県川崎市高津区下作延2-31-1	☎044-877-2441
夏山金属工業(株)　ナプレジャパン事業部		〒579-8014　大阪府東大阪市中石切町5-6-13	☎072-981-0802
ニコルレーシング(株)		〒212-0005　神奈川県川崎市幸区戸手2-5-7	☎044-201-9903
(有)ニューイング		〒663-8003　兵庫県西宮市高木東町 24-10	☎0798-63-1777
(株)ニューズ		〒813-0002　福岡県福岡市東区下原1-22-25	☎092-663-8320
ニューレイトン(株)		〒133-0065　東京都江戸川区南篠崎町4-14-11	☎03-3676-2992
(株)ハートボイス		〒733-0006　広島県広島市西区三篠北町16-1	☎082-509-0300
(株)橋本コーポレーション		〒606-8374　京都府京都市左京区二条通川端東入難波町209	☎075-761-7351
バスク(株)	※ TPMS メーカーのため優先順位は未記載	〒353-0001　埼玉県志木市上宗岡3-7-17	☎048-423-4765
(株)hazard		〒920-0339　石川県金沢市木曳野3-88	☎076-254-0014
(株)パディナジャパン		〒359-1141　埼玉県所沢市小手指町3-26-7	☎04-2947-9000
PATEC(株)		〒747-0833　山口県防府市大字浜方534-20	☎0835-25-2550
PIAA(株)		〒112-0005　東京都文京区水道1-12-15 白鳥橋三笠ビル	☎03-6891-3311
ビーエムビー技術研究(有)		〒106-0044　東京都港区東麻布2-35-2	☎03-3588-8011
BBS ジャパン(株)		〒933-0313　富山県高岡市福田六家 525	☎0766-31-0021
(株)ビッグウエイ		〒983-0034　宮城県仙台市宮城野区扇町7-2-36	☎022-259-0545
(有)ファトラスタイリング		〒412-0046　静岡県御殿場市保土沢 1157-812	☎0550-89-6979
フォルテック(株)		〒270-1108　千葉県我孫子市布佐平和台 4-5-23	☎04-7189-4117
(株)ファブレスジャパン		〒580-0023　大阪府松原市南新町4-48	☎06-6656-5555
(株)フォーバイフォーエンジニアリングサービス		〒509-0206　岐阜県可児市土田2461	☎0574-26-5824
(株)フジ･コーポレーション		〒981-3341　宮城県黒川郡富谷町成田1-7-1	☎022-348-3300
藤壺技研工業(株)		〒220-0072　神奈川県横浜市西区浅間町3-204-17	☎045-311-1368
ブリヂストンリテールジャパン(株)		〒104-0031　東京都中央区京橋1-12-2	☎03-3563-6572
(株)ブリッツ		〒202-0023　東京都西東京市新町4-7-6	☎0422-60-0378
ブリッド(株)		〒476-0015　愛知県東海市東海町1-11-1	☎052-689-2611
(株)BREAK		〒594-0031　大阪府和泉市伏屋町 2-17-15	☎072-555-8888
(株)ベスト		〒171-0044　東京都豊島区千早町4-25-3 大宏ビル	☎03-5995-6051
ベロフジャパン(株)		〒157-0071　東京都世田谷区千歳台4-30-11 ACTスクエア3F	☎03-3482-5461
(株)ホシノインパル		〒156-0054　東京都世田谷区桜丘5-32-3	☎03-3439-1122
(株)ホソカワコーポレーション		〒338-0823　埼玉県さいたま市桜区栄和4-1-1	☎048-851-4411
(株)ホットスタッフコーポレーション		〒816-0981　福岡県大野城市若草3-11-27	☎092-303-8033
(株)ホンダツインカム		〒166-0016　東京都杉並区成田西2-21-18	☎03-5347-7001
マルカサービス(株)		〒455-0844　愛知県名古屋市港区潮凪町1-3	☎052-387-7511
(株)ミアンジュジャパン		〒983-0011　宮城県仙台市宮城野区栄4-11-8	☎022-352-4173
(株)明和		〒343-0023　埼玉県越谷市東越谷7-88	☎048-966-3551
(有)モモ･ジャパン		〒158-0097　東京都世田谷区用賀2-26-4	☎03-5716-5485
(有)森田システム		〒359-0012　埼玉県所沢市大字坂之下 490-1	☎04-2951-1810
矢島工業(株)		〒373-0032　群馬県太田市新野町944	☎0276-31-1311
横浜ゴム(株)		〒105-8685　東京都港区新橋5-36-11	☎03-5400-4664
(有)　ライトマンアールアンドディー		〒738-0223　広島県廿日市市浅原171-1	☎0829-40-1030
(株)ラック		〒480-1103　愛知県長久手市琵琶ケ池20-1	☎0561-63-0101
(株)ラブラーク		〒536-0004　大阪府大阪市城東区今福西5-4-25	☎06-6786-3002
(株)レイズ		〒577-0016　大阪府東大阪市長田西2-4-7	☎06-6787-1110
(株)レイル		〒244-0803　神奈川県横浜市戸塚区平戸町335	☎045-824-1835
(株)ROJAM		〒454-0867　愛知県名古屋市中川区広田町2-70	☎052-355-0090
(株)ワーク		〒577-0016　大阪府東大阪市長田西4-1-13	☎06-6746-1133
(株)ワークスベル		〒154-0002　東京都世田谷区下馬3-22-10	☎03-3410-1411
(株)ワールドウイング		〒277-0872　千葉県柏市十余二337-458	☎04-7193-8683
(株)ワイエフシー		〒105-0004　東京都港区新橋5-36-11	☎03-3431-5986

日本自動車スポーツマフラー協会(JASMA) 会員一覧

2019 年 4 月 1 日現在 26 社・50 音順

合同会社Ex-Engineering		〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4457	☎045-507-4898
Apex(株)		〒192-0362　東京都八王子市松本9-1	☎042-678-7130
ロッソモデロ(株)		〒370-2314　群馬県富岡市田篠533	☎0274-67-5656
(株)IKD		〒577-0006　大阪府東大阪市楠根3-4-34	☎06-4307-6237
(株)エッチ･ケー･エス		〒418-0192　静岡県富士宮市北山7181	☎0544-29-1111
(株)M-TEC		〒351-8586　埼玉県朝霞市膝折町2-15-11	☎048-462-3151
(株)オートバックスセブン	※総合小売チェーン系会員のため優先順位は未記載	〒135-8717　東京都江東区豊洲5-6-52NBF豊洲キャナルフロント	☎03-6219-8700
(株)オートプロデュース･ボス		〒380-0913　長野県長野市川合新田1370	☎026-266-6388
カキモトレーシング(株)		〒592-8341　大阪府堺市西区浜寺船尾町東1-111	☎072-265-5050
(株)カクタスコーポレーション ギャルソン事業部		〒583-0871　大阪府羽曳野市野々上3-37-1	☎0729-52-0567
5ZIGENインターナショナル(株)		〒581-0845　大阪府八尾市上之島町北6-5	☎0729-95-8005
(株)SACLAM		〒369-1243　埼玉県深谷市永田 1098	☎048-584-7117
新潟自動車工業(株)ジーピースポーツ事業部		〒955-0092　新潟県三条市須頃3-161	☎0256-36-7773
(株)タナベ		〒562-0031　大阪府箕面市小野原東1-4-15	☎072-728-6700
(株)タニグチ		〒679-2122　兵庫県姫路市豊富町御蔭1110-2	☎079-264-4455
(株)テイクオフ		〒534-0021　大阪府大阪市都島区都島本通1-22-15	☎06-6924-0547
(株)トラスト		〒289-1605　千葉県山武郡芝山町大台3155-5	☎0479-77-3000
(株)藤田エンジニアリング		〒599-8101　大阪府堺市東区八下町1-82-1	☎072-258-1313
藤壺技研工業(株)		〒220-0072　神奈川県横浜市西区浅間町3-204-17	☎045-311-1368
(株)ブリッツ		〒202-0023　東京都西東京市新町4-7-6	☎0422-60-0378
(株)ホシノインパル		〒156-0054　東京都世田谷区桜丘5-32-3	☎03-3439-1122
(株)ホンダツインカム		〒166-0016　東京都杉並区成田西2-21-18	☎03-5347-7001
(株)マインズ		〒238-0315　神奈川県横須賀市林5-7-25	☎046-857-3313
(株)マキシムワークス		〒369-1244　埼玉県深谷市黒田376-1	☎048-584-6430
(株)マツ. ショウ		〒340-0002　埼玉県草加市青柳8-64-2	☎048-935-1130
矢島工業(株)		〒373-0032　群馬県太田市新野町944	☎0276-31-1311

ASEA基準認定品会員一覧

(株)エンドレスアドバンス、(株)カーレッグ、(株)キャロッセ、ブリッド(株)、(株)ワークスベルはASEA登録品も有り。

2019年4月現在・50音順

(株) アクレ
〒208-0011
東京都東村山市学園3-19-2
042-516-9600

(株)エンドレスアドバンス
〒385-0013
長野県佐久市横和1012-1
0267-68-6888

(株)カーレッグ
〒152-0003
東京都目黒区碑文谷5-12-14深澤ビル202
03-6425-7340

(株)キャロッセ
〒370-0018
群馬県高崎市新保町1664-1
027-352-3578

(株)ディクセル
〒566-0044
大阪府摂津市西一津屋3-3
072-654-0121

ブリッド(株)
〒476-0015
愛知県東海市東海町1-11-1
052-689-2611

(株)ワークスベル
〒154-0002
東京都世田谷区下馬3-22-10
03-3410-1411

ASEA基準登録品会員一覧

2019年4月現在・50音順

アサヒライズ(株)FET事業部
〒379-2131
群馬県前橋市西善町2004
027-280-8001

(株) 阿部商会
〒101-0053
東京都千代田区神田美土代町3-2
03-3233-2213

(株) エイチ・ピー・アイ
〒132-0025
東京都江戸川区松江2-10-20
03-5663-2551

エムケーカシヤマ(株)
〒385-0009
長野県佐久市小田井1119
0267-67-7700

(株)オーエス技研
〒702-8001
岡山県岡山市中区沖元464
086-277-6609

(株)オクヤマ
〒224-0053
神奈川県横浜市都筑区池辺町4539
045-934-5334

小倉クラッチ(株)
〒376-0011
群馬県桐生市相生町2-678
0277-54-7101

カーツ(株)
〒704-8588
岡山県岡山市東区西大寺五明387-1
086-942-1111

(株)ケイエスピーエンジニアリング
〒208-0034
東京都武蔵村山市残堀2-29-1
042-569-2930

(株)ケミテック
〒278-0001
千葉県野田市目吹1569
04-7192-8460

(株)コラント ヴァレンティ事業部
〒501-6311
岐阜県羽島市上中町長間1881
058-397-0303

C-WEST(株)
〒662-0863
兵庫県西宮市室川町4-26
0798-72-9000

(株)シルクロード
〒636-0245
奈良県磯城郡田原本町味間310-1
07443-4-1155

(株)スマート
〒651-2412
兵庫県神戸市西区竜が岡5-28-9
078-380-2780

(株)テイン
〒245-0053
神奈川県横浜市戸塚区上矢部町3515-4
045-810-5501

(株)東名パワード
〒194-0004
東京都町田市鶴間5-4-27
042-795-8411

(株)トムス
〒158-0082
東京都世田谷区等々力6-13-10
03-3704-6801

PIAA(株)
〒112-0005
東京都文京区水道1-12-15白鳥橋三笠ビル
03-6891-3311

(株)ブリッツ
〒202-0023
東京都西東京市新町4-7-6
0422-60-2277

矢島工業(株)
〒373-0032
群馬県太田市新野町944
0276-31-1311

(株)ラック
〒480-1103
愛知県長久手市琵琶ヶ池20-1
0561-63-0101

(株)レイル
〒244-0803
神奈川県横浜市戸塚区平戸町335
045-824-1835

(有)ファトラスタイリング
〒412-0046
静岡県御殿場市保土沢1157-812
0550-89-6979

ASEA基準登録品・認定品の最新情報は、NAPACホームページ(https://www.napac.jp)よりご確認下さい。